考查項目別運用表

考査項目	細 別	а	b	С	d	е
I. 施工状況	2. 施工管理	優れている	やや優れている	他の評価に該当しない	やや劣っている	劣っている
		反映したものとなっていることが確工事期間を通じて、施工計画書の現場条件又は計画内容に変更が生工事材料の品質に影響が無いよう立会確認の手続きを事前に行って建設副産物の再利用等への取り終工事の関係書類を不足なく簡潔に契約書第18条第1項第1号~5号施工体制台帳及び施工体系図を設下請に対する引き取り(完成)検査品質証明体制が確立され、品質証確認できる。 社内の管理基準に基づき管理してその他 「理由: ① 当該「評価対象項② 削除項目のあるは② 評価値(%)=該	記載内容と現場施工方法が一致していることが主じた場合は、その都度当該工事着手前に変き工事材料を保管していることが確認できる。いることが確認できる。 出みを行っていることが確認できる。 整理していることが確認できる。 を理していることが確認できる。 を理していることが確認できる。 を理していることが確認できる。 に基づく設計図書の照査を行っていることが確 ま令等に沿った内容で適確に整備していることを書面で実施していることが確認できる。 明員による関係書類、出来形、品質等の確認	が確認できる。 更計画書を提出していることが確認できる。 整認できる。 が確認できる。 を工事全般にわたって行っていることが	施工管理について、監督職員が文書による改善指示を行った。	施工管理について、監督職員からの文書による改善指示に従わなかった。

考 査 項 目	а			a'		b	b'		С	е	d
3. 出来形及び出来ばえ	出来形の測定	≧が、必要な	出来形の流	則定が、必要な	出来形	の測定が、必要な	出来形の測定	が、必要な	出来形の測定が、必要な	出来形の測定方法又	出来形の測定方法
	測定項目につ	いて所定の	測定項目	こついて所定の	測定項	[目について所定の	測定項目につ	いて所定の	測定項目について所定の	は測定値が不適切で	又は測定値が不適
I. 出来形	測定基準に基	でき行われ	測定基準に	に基づき行われ	測定基	準に基づき行われ	測定基準に基	づき行われ	測定基準に基づき行われ	あったため、監督職員	 切であったため、
	ており、測定値	直が規格値を	ており、測	定値が規格値を	ており.	. 測定値が規格値を	ており、測定値	直が規格値を	ており、測定値が規格値を	が文書で指示を行い	検査職員が修補
	満足し、そのに	ばらつきが規	満足し、そ	のばらつきが規	満足し	、そのばらつきが規	満足し、そのに	ばらつきが規	満足し、a~b'に該当しな	改善された。	指示を行った。
	格値の概ね5	0%以内で	格値の概ね	a 50%以内 で	格値の	概ね80%以内で	格値の概ね8	0%以内で	い。		
	下記の「評定	対象項目」の	下記の「評	定対象項目」の	下記の	「評定対象項目」の	下記の「評定	対象項目」の			
	4項目以上が	該当する。	3項目以上	<u>:</u> が該当する。	3項目	以上が該当する。	2項目以上が	該当する。			
	●評価対象項目 出来形管:		握できるよう、	出来形管理図及で	び出来形管	理表を工夫している。	ことが確認できる。				
	不可視部	分の出来形が	写真で確認で	きる。				① H	出来形の評定は、工事全般を通り	ごて評定するものとする。	
	写真管理	基準の管理項	目を満足してし	る。				② 出	来形とは、設計図書に示された	エ事目的物の形状及び寸流	きをいう。
	出来形管:	理基準が定め	られていないコ	種について、監督	緊職員と協	議の上で管理してい	ることが確認できる	。 ③ 出	来形管理とは、「土木工事施工	管理基準」の測定項目、測定	E基準
	社内の管理	理基準に基づ	き管理している	ことが確認できる) _o			及(び規格値に基づき所定の出来形	を確保する管理体系である	5
	その他	-	来形管理項目を設定していなし	\工事は「c」評価とする。							
		理由:	「できない場合は、規格値・基	·準値•							
			計値と測定した出来形寸法との	差の大小など、測定値と許容	値等との						
	※ ばらつきの	判断は別紙-	-4参照。					関係	系性をもってばらつき評価に代え	とてもよい。	
	口ばらつきが	概ね50%以内	N、口ばらつき <i>i</i>	が概ね80%以内	、口ばらつ	きが概ね80%を超え	る、口ばらつきで	判断不可能			
	エ 種	á	a	a'		b		b'	С с	d	e
	①機械設備工事		ている	bより優れて	こいる	やや優れている	る cより	 優れている	他の評価に該当しない	やや劣っている	劣っている
	O 100 100 100 1	●評価対象項		- 7 12-3						出来形の測定方法又	出来形の測定方法
				そ形管理が容易に	把握できる	るよう、出来形管理図	などを工夫している	5.		は測定値が不適切で	又は測定値が不適
	※上記欄によら					「許容範囲内である。		•		あったため、監督職員	切であったため、
	ず、当該欄で			最影記録が撮影						が文書で指示を行い	検査職員が修補
	評価					ここ。。 目について、監督職員	と協議の上で管理	11.ている。		改善された。	指示を行った。
	4110			来形を写真撮影し						31 L C 1 1 1 L C	74.7 217.5120
				を膜厚管理を適り		こ いる。					
				出来形管理を適り	-						
				られている予備品							
						· · · · =	整備後の劣化状況	兄及び回復状況	況を図表等に記録している。		
				こ基づき管理して							
			_						٦		
			理由:								
		●判断基準									
		評価値が9	90%以上 · · · ·	·····a							
		評価値が8	30%以上90%:	未満•••••a'							
			70%以上80%:								
			60%以上70%:								
			30%未満・・・・								
		, ,m, ,_, ,	1 11-2	-							
				① 当該「評価	対象項目	のうち、対象としない	項目は削除する。				
								算した比率(%	6)計算の値で評価する。		
						当項目数()/評					
				_		対象項目数が2項目					

考 査 項 目	エ 種	а	a'	b	b'	С	d	е
3. 出来形及び出来ばえ	②電気設備工事	優れている	bより優れている	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない	やや劣っている	劣っている
	通信設備工事・	●評価対象項目					出来形の測定方法又	出来形の測定方法
I. 出来形	受変電設備工事	据付に関する出	来形管理が容易に把握できん	るよう、出来形管理図及び出	来形管理表を工夫しているこ	ことが確認できる。	は測定値が不適切で	又は測定値が不適
		機器等の測定(詞	試験)結果が、その都度管理	図表などに記録され、適切に	管理していることが確認でき	きる。	 あったため、監督職員	 切であったため、
	※上記欄によら	写真管理基準の	管理項目を満足している。				が文書で指示を行い	検査職員が修補
	ず、当該欄で	不可視部分の出	来形が写真で確認できる。				改善された。	指示を行った。
	評価	設計図書で定め	られていない出来形管理項目	目について、監督職員と協議	の上で管理していることが確	『認できる。		
		設備全般にわたり	り、形状、寸法の実測値が許	F容範囲内であることが確認っ	できる。			
		設備の据付、固定	定方法が、設計図書又は承記	諾図書のとおり施工している。	ことが確認できる。			
		配管及び配線が	設計図書又は承諾図書通り	敷設していることが確認でき	る。			
		行先などを表示し	た名札が、ケーブルなどに	分かり易く堅固に取り付けてい	いる。			
		配管及び配線の	支持間隔や絶縁抵抗等につ	いて、設計図書の仕様を満り	足していることが確認できる。			
		社内の管理基準	に基づき管理していることが					
		その他「		7				
		 理由:						
		●判断基準						
		評価値が90%以上・・・	·····a					
		評価値が80%以上90%	未満・・・・・a' ① 当該「	評価対象項目」のうち、対象と	<u>しない項目は削除する。</u>			
		評価値が70%以上80%	未満・・・・・b ② 削除項	夏目のある場合は削除後の評 の表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表	価項目数を母数として計算	した比率(%)計算の値で評価	iする。	
		評価値が60%以上70%	未満・・・・・b' ③ 評価値	፬(%)=該当項目数()/評価対象項目数()			
		評価値が60%未満・・・・	・・・・・・・・・c ④ なお、i	削除後の評価対象項目数が	2項目以下の場合はc評価と	:する。		
							<u> </u>	
	工種	a	a'	b	b'	С	d	е
	工 種 ③建築工事	優れている	a' bより優れている	b やや優れている	b' cより優れている	c 他の評価に該当しない	やや劣っている	劣っている
		優れている ●評価対象項目	bより優れている	やや優れている	-		やや劣っている 出来形の管理に関し	劣っている 出来形が不適切で
		優れている ●評価対象項目 承諾図等が、設語	bより優れている 計図書を満足していることが	やや優れている確認できる。	-		やや劣っている 出来形の管理に関し て、監督職員が文書で	劣っている 出来形が不適切で たため、工事請負
		優れている ●評価対象項目 承諾図等が、設記 施工図等が、設認	bより優れている 計図書を満足していることが 計図書を満足していることが	やや優れている 確認できる。 確認できる。	cより優れている		やや劣っている 出来形の管理に関し て, 監督職員が文書で 指示を行い改善され	劣っている 出来形が不適切で たため、工事請負 契約書あっ第31条
		優れている ●評価対象項目 承諾図等が, 設計施工図等が, 設計施工図等が, 設計施工計画書等で	bより優れている 計図書を満足していることが 計図書を満足していることが 出来高の管理基準を設定し	やや優れている 確認できる。 確認できる。 , 計画に基づく管理を実施し	cより優れている		やや劣っている 出来形の管理に関し て、監督職員が文書で	劣っている 出来形が不適切で たため、工事請負 契約書あっ第31条 に基づく修補指示を
		優れている ●評価対象項目 承諾図等が,設計施工図等が,設計施工図等が,設計施工計画書等では、出来形の管理記	bより優れている 計図書を満足していることが 計図書を満足していることが 出来高の管理基準を設定し 録の整備が、良好であること	やや優れている 確認できる。 確認できる。 , 計画に基づく管理を実施してが確認できる。	cより優れている		やや劣っている 出来形の管理に関し て, 監督職員が文書で 指示を行い改善され	劣っている 出来形が不適切で たため、工事請負 契約書あっ第31条
		優れている ●評価対象項目 承諾図等が、設言施工図等が、設言施工図等が、設言施工計画書等で出来形の管理記出来形の管理方	bより優れている 計図書を満足していることが 計図書を満足していることが 出来高の管理基準を設定し 録の整備が、良好であること 法が、工夫されていることが	やや優れている 確認できる。 確認できる。 , 計画に基づく管理を実施してが確認できる。 確認できる。 確認できる。	cより優れている ていることが確認できる。		やや劣っている 出来形の管理に関し て, 監督職員が文書で 指示を行い改善され	劣っている 出来形が不適切で たため、工事請負 契約書あっ第31条 に基づく修補指示を
		優れている ●評価対象項目 承諾図等が、設言施工図等が、設言施工図等が、設計施工計画書等で出来形の管理記出来形の管理方現場における出来	bより優れている 計図書を満足していることが 計図書を満足していることが 出来高の管理基準を設定し 録の整備が、良好であること 法が、工夫されていることが 来形が、設計図書を満足し、	やや優れている 確認できる。 確認できる。 , 計画に基づく管理を実施してが確認できる。 確認できる。 確認できる。 確認できる。 適切な施工であることが確認	cより優れている ていることが確認できる。		やや劣っている 出来形の管理に関し て, 監督職員が文書で 指示を行い改善され	劣っている 出来形が不適切で たため、工事請負 契約書あっ第31条 に基づく修補指示を
		優れている ●評価対象項目 承諾図等が、設言 施工図等が、設言 施工計画書等で 出来形の管理記 出来形の管理方 現場における出 現場における出	bより優れている 計図書を満足していることが 計図書を満足していることが 出来高の管理基準を設定し 録の整備が、良好であること 法が、工夫されていることが 来形が、設計図書を満足し、 来形が良好で、施工の精度が	やや優れている 確認できる。 確認できる。 , 計画に基づく管理を実施してが確認できる。 確認できる。 確認できる。 適切な施工であることが確認が高い。	cより優れている ていることが確認できる。		やや劣っている 出来形の管理に関し て, 監督職員が文書で 指示を行い改善され	劣っている 出来形が不適切で たため、工事請負 契約書あっ第31条 に基づく修補指示を
		優れている ●評価対象項目 承諾図等が、設言 施工図等が、設言 施工計画書等で 出来形の管理記 出来形の管理方 現場における出発 現場における出発 不可視部分となる	bより優れている 計図書を満足していることが 計図書を満足していることが 出来高の管理基準を設定し 録の整備が、良好であること 法が、工夫されていることが 来形が、設計図書を満足し、 来形が良好で、施工の精度が る出来形が、工事写真、施工	やや優れている 確認できる。 確認できる。 計画に基づく管理を実施している が確認できる。 確認できる。 適切な施工であることが確認 が高い。 記録により確認できる。	cより優れている ていることが確認できる。	他の評価に該当しない	やや劣っている 出来形の管理に関し て, 監督職員が文書で 指示を行い改善され	劣っている 出来形が不適切で たため、工事請負 契約書あっ第31条 に基づく修補指示を
		優れている ●評価対象項目 承諾図等が、設語 施工図等が、設語 施工計画書等で 出来形の管理方 現場における出 現場における出 現場における出 ので表する。 「現場における出 ので表する。「現場における出 ので表する。「現場における出 ので表する。「現場における出 ので表する。「現場における出 ので表する。「現場における出 ので表する。「現場における出 ので表する。「現場における出 ので表する。」「はない、これは、これは、これは、これは、これに、これに、これに、これに、これに、これに、これに、これに、これに、これに	bより優れている 計図書を満足していることが 計図書を満足していることが 出来高の管理基準を設定し 録の整備が、良好であること 法が、工夫されていることが 来形が、設計図書を満足し、 来形が良好で、施工の精度が る出来形が、工事写真、施工	やや優れている 確認できる。 確認できる。 , 計画に基づく管理を実施してが確認できる。 確認できる。 確認できる。 適切な施工であることが確認が高い。	cより優れている ていることが確認できる。	他の評価に該当しない	やや劣っている 出来形の管理に関し て, 監督職員が文書で 指示を行い改善され	劣っている 出来形が不適切で たため、工事請負 契約書あっ第31条 に基づく修補指示を
		優れている ●評価対象項目 承諾図等が、設語 施工図等が、設語 施工計画書等で 出来形の管理記 出来形の管理方 現場における出 現場における出 現場における出 を表する。 解体又は撤去エー その他	bより優れている 計図書を満足していることが 計図書を満足していることが 出来高の管理基準を設定し 録の整備が、良好であること 法が、工夫されていることが 来形が、設計図書を満足し、 来形が良好で、施工の精度が る出来形が、工事写真、施工	やや優れている 確認できる。 確認できる。 計画に基づく管理を実施している が確認できる。 確認できる。 適切な施工であることが確認 が高い。 記録により確認できる。	cより優れている ていることが確認できる。	他の評価に該当しない	やや劣っている 出来形の管理に関し て, 監督職員が文書で 指示を行い改善され	劣っている 出来形が不適切で たため、工事請負 契約書あっ第31条 に基づく修補指示を
		優れている ●評価対象項目 承諾図等が、設語 施工図等が、設語 施工計画書等で 出来形の管理方 現場における出 現場における出 現場における出 ので表する。 「現場における出 ので表する。「現場における出 ので表する。「現場によりとなる。」「現場によりとなる。」「は、またまたまた。」「は、またまたまた。」「は、またまたまたまた。」「は、またまたまたまた。」「は、またまたまたまたまたまたまたまた。」「は、またまたまたまたまたまたまたまたまたまたまたまた。」「は、またまたまたまたまたまたまたまたまたまたまたまたまたまたまたまたまたまたまた	bより優れている 計図書を満足していることが 計図書を満足していることが 出来高の管理基準を設定し 録の整備が、良好であること 法が、工夫されていることが 来形が、設計図書を満足し、 来形が良好で、施工の精度が る出来形が、工事写真、施工	やや優れている 確認できる。 確認できる。 計画に基づく管理を実施している が確認できる。 確認できる。 適切な施工であることが確認 が高い。 記録により確認できる。	cより優れている ていることが確認できる。	他の評価に該当しない	やや劣っている 出来形の管理に関し て, 監督職員が文書で 指示を行い改善され	劣っている 出来形が不適切で たため、工事請負 契約書あっ第31条 に基づく修補指示を
		優れている ●評価対象項目	bより優れている 計図書を満足していることが 計図書を満足していることが 出来高の管理基準を設定し 録の整備が、良好であること 法が、工夫されていることが 来形が、設計図書を満足し、 来形が良好で、施工の精度が る出来形が、工事写真、施工	やや優れている 確認できる。 確認できる。 計画に基づく管理を実施している が確認できる。 確認できる。 適切な施工であることが確認 が高い。 記録により確認できる。	cより優れている ていることが確認できる。	他の評価に該当しない	やや劣っている 出来形の管理に関し て, 監督職員が文書で 指示を行い改善され	劣っている 出来形が不適切で たため、工事請負 契約書あっ第31条 に基づく修補指示を
		優れている ●評価対象項目	bより優れている 計図書を満足していることが 計図書を満足していることが 出来高の管理基準を設定し 録の整備が、良好であること 法が、工夫されていることが 来形が、設計図書を満足し、 来形が良好で、施工の精度が る出来形が、工事写真、施工 事の場合、撤去対象物の範	やや優れている 確認できる。 確認できる。 計画に基づく管理を実施している が確認できる。 確認できる。 適切な施工であることが確認 が高い。 記録により確認できる。	cより優れている ていることが確認できる。	他の評価に該当しない	やや劣っている 出来形の管理に関し て, 監督職員が文書で 指示を行い改善され	劣っている 出来形が不適切で たため、工事請負 契約書あっ第31条 に基づく修補指示を
		優れている ●評価対象項目 ■ 承諾図等が,設語 ■ 施工図等が,設語 ■ 施工計画管理記 出来形の管理方 現場における出 現場における出 現場における出 のでは、おける出 のでは、おけるには、おりる。 ●判断基準 評価値が90%以上・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	bより優れている 計図書を満足していることが 計図書を満足していることが 出来高の管理基準を設定し 録の整備が、良好であること 法が、工夫されていることが 来形が、設計図書を満足し、 来形が良好で、施工の精度が る出来形が、工事写真、施工 事の場合、撤去対象物の範	やや優れている 確認できる。 確認できる。 計画に基づく管理を実施している が確認できる。 確認できる。 適切な施工であることが確認 が高い。 記録により確認できる。	cより優れている ていることが確認できる。	他の評価に該当しない	やや劣っている 出来形の管理に関し て, 監督職員が文書で 指示を行い改善され	劣っている 出来形が不適切で たため、工事請負 契約書あっ第31条 に基づく修補指示を
		優れている ●評価対象項目 ■ 承諾図等が, 設語 施工図等が, 設語 施工図等が, 設語 地工計画管理記 出来形の管理方 現場における出現 現場における出現 不可視部分となる 解体又は撤去工 その他 理由: ●判断基準 評価値が90%以上・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	bより優れている 計図書を満足していることが 計図書を満足していることが 出来高の管理基準を設定し 録の整備が、良好であることが 来形が、設計図書を満足し、 来形が良好で、施工の精度が 出来形が、工事写真、施工 事の場合、撤去対象物の範	やや優れている 確認できる。 確認できる。 計画に基づく管理を実施している が確認できる。 確認できる。 適切な施工であることが確認 が高い。 記録により確認できる。	cより優れている ていることが確認できる。	他の評価に該当しない	やや劣っている 出来形の管理に関し て, 監督職員が文書で 指示を行い改善され	劣っている 出来形が不適切で たため、工事請負 契約書あっ第31条 に基づく修補指示を
		優れている ●評価対象項目 ■ 承諾図等が, 設語 施工図等が, 設語 施工 図等が, 設語 地工 図等が 設語 地来形の管理 力 現場における出現 現場における出現 不可視部分となる 解体又は撤去工 での他 埋由: ●判断基準 評価値が90%以上・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	bより優れていることが、計図書を満足していることが、計図書を満足していることが、出来高の管理基準を設定し、録の整備が、良好であることが、工夫されていることが来形が、設計図書を満足し、来形が良好で、施工の精度が、出来形が、工事写真、施工事の場合、撤去対象物の範	やや優れている 確認できる。 確認できる。 計画に基づく管理を実施して が確認できる。 確認できる。 適切な施工であることが確認が高い。 記録により確認できる。 囲等が確認でき,適切に処分	cより優れている ていることが確認できる。 さできる。	他の評価に該当しない	やや劣っている 出来形の管理に関し て, 監督職員が文書で 指示を行い改善され	劣っている 出来形が不適切で たため、工事請負 契約書あっ第31条 に基づく修補指示を
		優れている ●評価対象項目 ■ 承諾図等が, 設語 施工図等が, 設語 施工図等が, 設語 地工との管理方 現場における出現 現場における出現 不可視部分となる 解体又は撤去工 その他 埋由: ●判断基準 評価値が90%以上・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	bより優れている 計図書を満足していることが 計図書を満足していることが 計図書を満足していることが 出来高の管理基準を設定し 録の整備が、良好であることが 来形が、設計図書を満足し、 来形が良好で、施工の精度が 出来形が、工事写真、施工 事の場合、撤去対象物の範 未満・・・・・ 未満・・・・・ も	やや優れている 確認できる。 確認できる。 計画に基づく管理を実施して が確認できる。 確認できる。 適切な施工であることが確認が高い。 記録により確認できる。 囲等が確認でき,適切に処分	cより優れている ていることが確認できる。 ないます。 ないることが確認できる。 ないます。 ないます。 のできる。	他の評価に該当しない	やや劣っている 出来形の管理に関し て, 監督職員が文書で 指示を行い改善され	劣っている 出来形が不適切で たため、工事請負 契約書あっ第31条 に基づく修補指示を
		優れている ●評価対象項目 ■ 承諾図等が, 設語 施工図等が, 設語 施工図等が, 設語 地工との管理方 現場における出現 現場における出現 不可視部分となる 解体又は撤去工での他 埋由: ●判断基準 評価値が90%以上・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	bより優れていることが、計図書を満足していることが、計図書を満足していることが、計図書を満足していることが、最大されていることが、工夫されていることが、来形が、設計図書を満足し、来形が良好で、施工の精度が、工事写真、施工事の場合、撤去対象物の範書をある出来形が、工事写真、施工事の場合、撤去対象物の範書を表し、表演・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	やや優れている 確認できる。 確認できる。 ,計画に基づく管理を実施してが確認できる。 確認できる。 適切な施工であることが確認が高い。 記録により確認できる。 囲等が確認でき、適切に処分	cより優れている ていることが確認できる。 ないます。 ないることが確認できる。 ないます。 ないます。 のできる。	他の評価に該当しない	やや劣っている 出来形の管理に関し て, 監督職員が文書で 指示を行い改善され	劣っている 出来形が不適切で たため、工事請負 契約書あっ第31条 に基づく修補指示を
		優れている ●評価対象項目 ■ 承諾図等が, 設語 施工図等が, 設語 施工図等が, 設語 地工との管理方 現場における出現 現場における出現 不可視部分となる 解体又は撤去工 その他 埋由: ●判断基準 評価値が90%以上・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	bより優れていることが、計図書を満足していることが、計図書を満足していることが、計図書を満足していることが、良好であることが、良好であることが、来形が、設計図書を満足し、来形が良好で、施工の精度が、工事写真、施工事の場合、撤去対象物の範書をある出来形が、工事写真、施工事の場合、撤去対象物の範書を表し、表演・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	やや優れている 確認できる。 確認できる。 ,計画に基づく管理を実施してが確認できる。 確認できる。 適切な施工であることが確認が高い。 記録により確認できる。 囲等が確認でき、適切に処分	cより優れている ていることが確認できる。 とできる。 とできる。 かをしていることが確認できる の評価項目数を母数として計	他の評価に該当しない	やや劣っている 出来形の管理に関し て, 監督職員が文書で 指示を行い改善され	劣っている 出来形が不適切で たため、工事請負 契約書あっ第31条 に基づく修補指示を
		優れている ●評価対象項目 ■ 承諾図等が, 設語 施工図等が, 設語 施工図等が, 設語 地工との管理方 現場における出現 現場における出現 不可視部分となる 解体又は撤去工での他 埋由: ●判断基準 評価値が90%以上・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	bより優れていることが、計図書を満足していることが、計図書を満足していることが、計図書を満足していることが、良好であることが、良好であることが、来形が、設計図書を満足し、来形が良好で、施工の精度が、工事写真、施工事の場合、撤去対象物の範書をある出来形が、工事写真、施工事の場合、撤去対象物の範書を表し、表演・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	やや優れている 確認できる。 確認できる。 ,計画に基づく管理を実施してが確認できる。 確認できる。 適切な施工であることが確認が高い。 記録により確認できる。 囲等が確認でき、適切に処分	cより優れている ていることが確認できる。 とできる。 とできる。 かをしていることが確認できる の評価項目数を母数として計	他の評価に該当しない	やや劣っている 出来形の管理に関し て, 監督職員が文書で 指示を行い改善され	劣っている 出来形が不適切で たため、工事請負 契約書あっ第31条 に基づく修補指示を

											(
考 査 項 目	エ 種	а	a'	b	b'		С		d		е
3. 出来形	①コンクリート	品質関係の試験結果の	ばらつきと評価対象項目の)履行状況(評価値)から判断	する。<判断基準参照>			品質関係	の測定方法	: 品質	質関係の測定方法
及び	構造物工事	[関連基準、土木工事施	工管理基準、その他設計図	図書に定められた試験]				又は測定	値が不適切] 又に	は測定値が不適切
出来ばえ		※ ばらつきの判断は別紙-	-4参照。口ばらつきが概ね50′	%以内、□ばらつきが概ね80%以	↓内、□ばらつきが80%を超え	る、口ばらつき	きで判断不可能	であったた	とめ、監督職	載 一 でお	あったため、検査職
		●評価対象項目						員が文書	で指示を行	· 員力	が修補指示を行っ
Ⅱ. 品質			合試験及び試験練りを行っ	ており、コンクリートの品質(強	度·w/c、最大骨材粒径、	塩化物総量	、単位水量、アル	い改善され		た。	
_ · HI >C			制等)が確認できる。		× • (4×) (11 11 11 11	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	(+ L//L//	, ALC.	-7-0	, , , ,	
				しており、温度、スランプ、空	気量等の測定結単が確認	できる					
				が、当該現場の供試体である							
				設時の投入高さ及び締固め方		・見し アハスニ	・レが確認できる				
			ストに過じた達滅時間、117 コンクリート等を含む)	改時の人人同で次の神画の人	」はは、ためられた木叶で心	17EC C0.9C	ことの、日本で、この。				
				幸に*寿! + 後に刑!お及び士/D	エの取り材しナケーナいて	- 1. よミアセミ 取っ	5±7				
				隻に達した後に型枠及び支保 切に行っていることが確認で₹				ハニナ - 社会	し ナ ン	11年211120十	7
				別に付つ しいることが確認 じ	≅ నం	_	該「評価対象項目」 <i>0</i>				
			証明書類で確認できる。	除項目のある場合は		f伽垻日剱农	と対数とし	に計算し7こ比			
			までにさび、どろ、油等の有	(%)計算の値で評価							
			加工が、設計図書の仕様を	価値(%)=該当				` '			
			り、作業員の技量確認を行 [.]	お、削除後の評価対	象項目数が	2項目以下	<u>の場合はc</u>	;評価とする。			
			生が、設計図書の仕様を満	判断基準		つきで判断					
			スペーサーの品質及び個数が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 進行性又は有害なクラックが無い。(「進行性又は有害なクラックがある」場合、無処理にしていた場合は								ばらつきで判
		進行性又は有害	なクラックが無い。(「進行性	又は有害なクラックがある」均	易合、無処理にしていた場合	合は		50%以下	80%以下	80%を超える	断不可能
		状況に応じてd 又	スはe 評価とする)			⇒☆	90%以上	a	a'	b	b
		その他]	計価	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'
		理由:				値	60%以上75%未満	b	b'	c	С
							60%未満	b'	С	С	С
					注)試験	検結果の打点	気数等が少なくばらつ	つきの判断か	「できない場	合は評価	対象項目(評価値)
					だけ	で評価する。					
	エ 種	а	a'	b	b'	С			d	е	
	②土工事	品質関係の試験結果の	ばらつきと評価対象項目の)履行状況(評価値)から判断	する。<判断基準参照>	•		品質関係	の測定方法	品質	質関係の測定方法
	(切土、盛土、	[関連基準、土木工事施	工管理基準、その他設計図	図書に定められた試験]				又は測定	値が不適切] 又(:	は測定値が不適切
	築堤等工事)	※ ばらつきの判断は別紙-	-4参照。口ばらつきが概ね50°	%以内、□ばらつきが概ね80%以	↓内、□ばらつきが80%を超え	る、口ばらつき	きで判断不可能	であっただ	とめ、監督職	載 □ でま	あったため、検査職
		●評価対象項目						員が文書	で指示を行	員 <i>t</i>	が修補指示を行っ
		雨水による崩壊が	が起こらないように、 排水対	策を実施していることが確認?	できる。			い改善され		た。	
			書に基づき行っていることが	=	12 0 0			, ALC.	-7-0	, , , ,	
				以下を乱さないように施工して	ていることが確認できる						
			=	していることが確認できる。	CO OCCO REDUCCIOS						
			き出し厚を管理していること			① 当	該「評価対象項目」 <i>0</i>)うち、対象/	としない項目	1け削除す	3
				、『虚臓できる。 た条件で行っていることが確	認できる		除項目のある場合は				
				ルストで行っていることが確 した条件で行っていることが確			(%)計算の値で評価			<u>-</u>	に町井びに比
			設計図書を満足しているこ			-	、90/計算の値で評価 価値(%)=該当) ノ転/乗台	会话口粉 /	()
				こが確認できる。 テっていることが確認できる。			画値(%)/一該ヨ お、削除後の評価対				
		法面に有害な亀銭		うしいることが確認できる。			判断基準	<u> 多垻日剱か</u>	<u> </u>	の場合はの	清千畑とりる。
				トナ洪ロレブいてことが極到で	七フ	<u> </u>	刊例基準	バボウ	~ キーシャ川 昨日	ar éle	1.4.5 - 4 Jul
			設計凶者に定められた余円	‡を満足していることが確認で	~ 				つきで判断 80%以下	り形	ばらつきで判
		その他				_	0.00/ DL 1	50%以下	, ,		
		_理由:				評	90%以上	a	a´	b	b
						備	75%以上90%未満		b	b'	b'
						値	60%以上75%未満		b'	С	С
						<u> </u>	60%未満	b'	С	С	c
							数等が少なくばらつ	きの判断が	できない場	合は評価対	才象項目(評価値)
					だけ	で評価する。					

考 査 項 目	エ 種	а	a'	b	b'	С	d	e
	③護岸·根固·	品質関係の試験結果の	ばらつきと評価対象項目の	履行状況(評価値)から判断	する。<判断基準参照>		品質関係の測定方法	品質関係の測定方法
	水制工事		工管理基準、その他設計図				又は測定値が不適切	又は測定値が不適切
出来ばえ	(港湾工事以外)				↓内、□ばらつきが80%を超える、	口ばらつきで判断不可能	であったため、監督職	であったため、検査職
H > 11.017 C	(1875—47001)	●評価対象項目					員が文書で指示を行	員が修補指示を行っ
Ⅱ. 品質			に仕上げていることが確認て	きろ			い改善された。	た。
ш. ш.д				さる。 空隙が生じないよう十分に行	っていることが確認できる		0 - tx = 01072.	/
					又は連結が、裏込材の吸出し	が無いよう行っている		
		ことが確認できる		120317 2017 44077 67 117 127	人は廷和が、表色的の吸出し	が悪いなり门っている		
				・図書の仕様を満足しているこ	- レが婡羽ガキス			
					-とが確認できる。 寉保していることが確認できる			
					産床していることが確認でき		のうと 対象としたい位日は	· SIIII PO T Z
				『砂煙が設計図書の仕様を満足			は削除後の評価項目数を母	
					していることが唯認できる。 せが設計図書の仕様を満足し			「数として計算した比
		【 【 【 【 【 【 【 【 【 【 【 】 【 】 【 】 【 】 【 】		、材料の建稿及びかめ合わ	でか設計図書の仕様を満足し		▥タで。 当項目数()/評価対象:	G D ## / \
			ょでさる。 が、証明書類で確認できる。				ヨ頃日数() / 評価対象: 対象項目数が2項目以下の:	
						(4) なる、削除後の評価	<u> </u>	<u> あ合はC評価とする。</u>
			、掘り過ぎが無く施工している シク等を損傷無く設置している			●判断基準		
				oことが唯認できる。 等は、排除して施工しているこ	しんななまった。	●刊例基準	ばらつきで判断可能	能 ばらつきで判
				_{手は、排除して加工しているこ} Eしていることが確認できる。	- こが推認できる。		50%以下 80%以下 80%	
					場合、無処理にしていた場合は	\$ 90%以上	, ,	, ,
		状況に応じてd 又		又は有音なグラックかめる」は	あっ、無処垤にしていた場合1c	評 75%以上90%未		b b' b'
		その他「	くはで 計画でする)			価 60%以上75%未		c c
		理由:				値 60%未満	b' с	c c
		L <u>垤田.</u>					つきの判断ができない場合	-
						平価する。		13.开侧对象项目(开侧恒/
	工種	а	a'	b	b'	С С	d	е
	<u> </u>			履行状況(評価値)から判断	する。<判断基準参照>	<u> </u>	品質関係の測定方法	品質関係の測定方法
	(RC床版工事は		工管理基準、その他設計図		, 00 (11A12-1-2 m)		又は測定値が不適切	又は測定値が不適切
	コンクリート構				↓内、□ばらつきが80%を超える、	口ばらつきで判断不可能	であったため、監督職	であったため、検査職
		●評価対象項目	- 5 MG = 10 - 5 - 6 - 1 MG 10 - 1 - 1				員が文書で指示を行	員が修補指示を行っ
	~ 1,3,1 = 1 , 0,	【工場製作関係】					い改善された。	<i>t</i> .。
		鋼材の種別を、品	品質を証明する書類又は現物	勿により照合していることが 確	筆認できる。			v
			り、作業員の技量確認を行っ					
		溶接作業にあた	り、溶接材料の使用区分が記	役計図書の仕様を満足してい	ることが確認できる。			
		溶接施工に係る	施工計画書を提出しているこ	とが確認できる。				
		孔空けによって生	Eじたまくれが削り取られてし	いるなど、きめ細やかに製作し	していることが確認できる。			
		欠陥部の発生が	見られないことが確認できる	D _o				
		塗装作業にあたり	り、塗布面を十分に乾燥させ	て施工していることが確認で	きる。			
		素地調整を行う場	易合、第1種ケレン後4時間」	以内に金属前処理塗装を実施	をしていることが確認できる。			
		塗料の空缶管理	について、写真等で確実に3	空であることが確認できる。				
		塗料の品質が出	荷証明書、塗料成績表によ	り、製造年月日、ロット番号、	色彩、数量が確認できる。			
		■ その他 「			7		」のうち、対象としない項目は	
		理由:					は削除後の評価項目数を母	比数として計算した比 ┃ ┃
						率(%)計算の値で評値		
		【架設関係】					当項目数()/評価対象:	
			忍が実施され、記録を保管し			④ なお、削除後の評価:	対象項目数が2項目以下の	場合はc評価とする。
				ションを実施していることが研				
		高力ボルトの締め	の付けを、中心から外側に向	かって行っていることが確認	できる。			
			質が、証明書類で確認できる			●判断基準	NA h - Nullifor - r/	ok Las y d
				び仕上げ面に水切勾配がつ			ばらつきで判断可能	
				検討していることが確認でき		To and the l	50%以下 80%以下 80%	, 100 100 1
				て品質、性能が確保できる規	?模及び強度を有して確認して		a a'	b b
		いることが確認で		ケー・ファート/STM=コーナフ		(75%以上90%未)		b' b'
				行っていることが確認できる。		值 60%以上75%未	1 '	СС
		20.27	(、温度、湿度、風速寺の傩	認を行っていることが確認で	'হ∕৹∘	^區 60%未満	b' c	ССС
		 その他 │			;÷∖≣±€≥¢±	甲の打占粉笠が小たノバン	つきの判断ができない場合に	+郭佛勃象值日/郭佛传》
		L <u>理出:</u>				果の打点数寺か少なくはら _{亚価} する	フさの判断ができない場合に	よ計1個刈多垻日(計1個1個)

考 査 項 目	エ 種	а	a'	b	b'	С	d	е
3. 出来形	⑤砂防構造物工	品質関係の試験結果の	ばらつきと評価対象項目の原	覆行状況(評価値)から判断	する。<判断基準参照>		品質関係の測定方法	品質関係の測定方法
及び	事 及び	[関連基準、土木工事施	工管理基準、その他設計図	書に定められた試験]			又は測定値が不適切	又は測定値が不適切
出来ばえ	地すべり防止エ	※ ばらつきの判断は別紙-	·4参照。口ばらつきが概ね50%	ら以内、□ばらつきが概ね80%に	↓内、□ばらつきが80%を超える.	、口ばらつきで判断不可能	であったため、監督職	であったため、検査職
	事	●評価対象項目					員が文書で指示を行	員が修補指示を行っ
Ⅱ. 品質	(集水井工事を	【共通】					い改善された。	た。
	含む)	コンクリートの配行	合試験及び試験練りを行って	おり、コンクリートの品質(強	度·w/c、最大骨材粒径、塩	化物総量、単位水量、アル		
		カリ骨材反応抑制	川等)が確認できる。					
		コンクリート受ける	入れ時に必要な試験を実施し	きる。				
		圧縮強度試験に	使用したコンクリート供試体ス					
		運搬時間、打設時	fの投入高さ、締固時のバイ:	に適しており、定められた				
		条件を満足してい	へることが確認できる。(寒中					
		コンクリートの圧約	宿強度を管理しており、必要	な強度に達した後に型枠及び	び支保工の取り外しを行ってし	いる。		
		地山との取り合わ	っせを適切に行っていることだ	が確認できる。				
		鉄筋及び鋼材の	品質が、証明書類で確認でる	きる。				
		進行性又は有害	なクラックが無い。(「進行性)	又は有害なクラックがある」場	場合、無処理にしていた場合 <i>は</i>	は状況に応じてd 又は		
		e 評価とする)			5			
		その他						
		_ 理由:						
		F -1-11444444						
		【砂防構造物工事						
					管理していることが確認できる マ	٥.		
				満足していることが確認でき ^え	ీ			
			こ仕上げていることが確認で					
			、設計図書の仕様を満足し Rが実体され、記録を保険し					
			習が実施され、記録を保管し	ていることが確認できる。 ションを実施していることがG	ケシスナフ			
		その他「	びい測定機器のキャリノレー	ションを美施していることが作	∉総できる。			
						① 坐該「評価対象項目」	のうち、対象としない項目は	- 削除する
		<u> 埋田 .</u>					めりろ、対象としない項目は は削除後の評価項目数を母	
						率(%)計算の値で評価		女として可昇した比
		「抽すべり対策工	事(抑止杭・集水井戸工事を	こ今まい】			■する。 当項目数()/評価対象:	百日粉()
			ずいかれた。 ・、設計図書の仕様を満足し			C 11 12 1 1 1 1 1 1 1	□項日数() / 計画内象: 対象項目数が2項目以下の:	
				. ていることが 確認 てとる。 歪みに配慮して施工している	5.ことが確認できる	(中) (400、円)(水区 (A) (中) (本)	13 A C C C C C C C C C C C C C C C C C C	<u> </u>
				ように施工していることが確認				
				- • · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	ばをしていることが確認できる。	●判断基準		
		その他) = 0)) 1 () () () ())	ばらつきで判断可能	能 ばらつきで判
		理由:						を超える 断不可能
		<u> </u>				90%以上	a a'	b b
						75%以上90%未		b' b'
						価 60%以上75%未2		сс
						60%未満	b' c	сс
					注)試験結	果の打点数等が少なくばら	つきの判断ができない場合に	よ評価対象項目(評価値)
						評価する。	_ ,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	

考 査 項 目	エ	種	а	a'	b	b'	С	d	е
3. 出来形	⑥舗装コ	C事	品質関係の試験結果の	ばらつきと評価対象項目の		品質関係の測定方法	品質関係の測定方法		
及び			[関連基準、土木工事施	工管理基準、その他設計図		又は測定値が不適切	又は測定値が不適切		
出来ばえ			※ ばらつきの判断は別紙-	-4参照。□ばらつきが概ね50%	、□ばらつきで判断不可能	 であったため、監督職	であったため、検査職		
			●評価対象項目			員が文書で指示を行	員が修補指示を行っ		
Ⅱ. 品質			【路床·路盤工関	係】				い改善された。	た。
			設計図書に定め	られた試験方法でCBR値を	測定していることが確認でき	る。			
			路床及び路盤工	のプルーフローリングを行っ	ていることが確認できる。				
			路床及び路盤工	の密度管理が、設計図書の					
			路盤の安定処理	は材料が均一になるよう施工	Cしていることが確認できる。				
			路盤の施工に先	立って、路床面、下層路盤面	iの浮き石及び有害物を除去	してから施工していることが	確認できる。		
			路床盛土におい	て、一層の仕上がり厚を20c	m以下とし、各層ごとに締固]めて施工していることが確認	2できる。		
			路床盛土において	、構造物の隣接箇所や狭い圏	節所における締固めが、タンパ	等の小型締固め機械により施	工していることが確認できる。		
			その他			٦			
			理由:						
			【アスファルト舗装	支工関係 】					
			アスファルト混合	物の品質が、配合設計及び	試験練りの結果又は事前審	査制度の証明書類により確認	認できる。		
			舗装工の施工に	あたって、上層路盤面の浮き	石などの有害物を除去して	いることが確認できる。			
			プラント出荷時、	現場到着時、舗設時等におし	いて、アスファルト混合物の温	温度管理を記録していることが	が確認できる。		
			舗設後の交通開	放が、定められた条件を満足	己していることが確認できる。				
			各層の継ぎ目の	位置が、設計図書に定められ	ιた数値以上であることが確	認できる。			
			縦継目及び横継	目の位置、構造物との接合	面の処理等が、設計図書の低	土様を満足していることが確	認できる。		
			アスファルト混合	物の運搬及び舗設にあたっ	て、気象条件を配慮している	ことが確認できる。			
			密度管理が設計	図書の仕様を満足しているこ	ことが確認できる。				
			その他]			
			理由:理由:						
							① 当該「評価対象項目」	のうち、対象としない項目は	:削除する。
			【コンクリート舗装	工関係】			② 削除項目のある場合	は削除後の評価項目数を母	!数として計算した比
			コンクリートの配・	合試験及び試験練りを行って	おり、コンクリートの品質(強	度·w/c、最大骨材粒径、	率(%)計算の値で評(逝する。	
			塩化物総量、単位	立水量、アルカリ骨材反応抑	制等)が確認できる。		③ 評価値(%)=該	当項目数()/評価対象	項目数()
			舗装工の施工に	先だって、上層路盤面の浮き	そ石等の有害物を除去してか	ら施工していることが確認	④ なお、削除後の評価を	対象項目数が2項目以下の	場合はc評価とする。
			できる。				•		-
			コンクリート受けん	入れ時に必要な試験を実施し	しており、温度、スランプ、空気	気量等の測定結果が確認			
			できる。				●判断基準		
			圧縮強度試験に	使用したコンクリート供試体フ	が当該現場の供試体である。	ことが確認できる。		ばらつきで判断可	能がいるで判
			運搬時間、打設力	5法及び養生方法が、施工条	件及び気象条件に適してお	り、設計図書に定められた		50%以下 80%以下 80%	を超える 断不可能
			条件を満足してし	ゝることが確認できる。			90%以上	a a'	b b
			材料が分離しなし	いようコンクリートを敷均してい	いることが確認できる。		75%以上90%未	尚 a' b	b' b'
				バーを損傷などが発生しなし	いよう保管していることが確認	とできる。	値 60%以上75%未	満bb'	с с
			その他]	60%未満	b' c	с с
			理由:				ま果の打点数等が少なくばら	つきの判断ができない場合!	は評価対象項目(評価値)
						評価する。			

考 査 項 目	エ 種	а	a'	b	b'	С	d	е
3. 出来形	⑦法面工事	品質関係の試験結果の	ばらつきと評価対象項目の原	品質関係の測定方法	品質関係の測定方法			
及び		[関連基準、土木工事施	工管理基準、その他設計図	又は測定値が不適切	又は測定値が不適切			
出来ばえ		※ ばらつきの判断は別紙-	-4参照。□ばらつきが概ね50%	であったため、監督職	であったため、検査職			
		●評価対象項目					員が文書で指示を行	員が修補指示を行っ
Ⅱ. 品質		【共通】					い改善された。	た。
		施工基面を平滑し	こ仕上げていることが確認で	きる。(特に法枠エ、コンクリ	ート又はモルタル吹付工関化	系)		
		施工に際して、品	質に害となる施工面の浮き	石やゴミ等を除去してから施	エしていることが確認できる	0		
		盛土の施工にあた	たり、法面の崩壊が起こらな					
		雨水による崩壊が	が起こらないように、排水対策					
		その他						
		理由:						
		【種子吹付工、客	土吹付工、植生基材吹付工	関係】				
		土壌試験の結果	を施工に反映していることが	確認できる。				
		ネットなどの境界	に隙間が生じていないことが	「確認できる。				
		ネットなどが破損	を生じていないことが確認で	きる。				
		吹付け厚さが均等	等であることが確認できる。					
		使用する材料の種	重類、品質、配合等が設計図	図書の仕様を満足していること	とが確認できる。			
		施工時期が定め	られた条件を満足しているこ	とが確認できる。				
		その他]			
		理由:						
		【コンクリート又は	モルタル吹付工関係】					
		使用する材料の利	重類、品質及び配合が、設計	十図書の仕様を満足している	ことが確認できる。			
		金網の重ね幅が	、10cm以上確保されている	ことが確認できる。				
		金網が破損を生し	じていないことが確認できる。)				
		吸水性の吹付け	面において、事前に吸水させ	けてから施工していることが確	認できる。			
		吹付け厚さが均等	等であることが確認できる。					
		吹付け厚さに応じ	て2層以上に分割して施工	していることが確認できる。				
		圧縮強度試験に	使用したコンクリートの供試化	本が、当該現場の供試体であ	ることが確認できる。			<u> </u>
		不良箇所が生じた	ないよう跳ね返り材料の処理	を行っていることが確認でき	る。	① 当該「評価対象項目]」のうち、対象としない項目	は削除する。
		法肩の吹付けに	あたり、地山に沿って巻き込	んで施工していることが確認	できる。	② 削除項目のある場合	合は削除後の評価項目数を	母数として計算した比
		その他				率(%)計算の値で記		
		理由:				③ 評価値(%)==	亥当項目数()/評価対象	象項目数()
		【現場打法枠工関	係(プレキャスト法枠工含む	3)]		④ なお、削除後の評価	<u> 5対象項目数が2項目以下の</u>	D場合はc評価とする。
		使用する材料の種	重類、品質及び配合が、設計	†図書の仕様を満足している	ことが確認できる。			
		アンカーを設計図]書どおりの長さで施工してに	いることが確認できる。				
		現場養生が、設計	†図書の仕様を満足するよう	に実施されていることが確認	?できる。	●判断基準	<u> </u>	<u> </u>
		強度試験に使用し	したコンクリート供試体が当ま	該現場の供試体であることが	確認できる。		ばらつきで判断す	10.3 6 111
		枠内に空隙が無	いことが確認できる。				50%以下 80%以下 8	0%を超える 断不可能
			無いことが確認できる。			◎ 90%以上	a a'	b b
		 	ないよう跳ね返り材料の処理	を行っていることが確認でき	る。	行 (75%以上90%)		b' b'
		その他				值 60%以上75% 元		СС
		理由:				60%未満	b' c	СС
					らつきの判断ができない場合	合は評価対象項目(評価値)		
	1			評価する。		1		

考査項目	エ 種	a a' b b' c						d		е	
3. 出来形	⑧基礎工事及び	品質関係の試験結果の	ばらつきと評価対象項目の		品質関	係の測定方法	去	品質関係の測	定方法		
	地盤改良工事		工管理基準、その他設計図					定値が不適り		又は測定値が	
出来ばえ					し内、□ばらつきが80%を超える。	口ばらつきで判断不可能		たため、監督		であったため、	
шжівл		●評価対象項目	19/110 110 9 2 2 3 4 3 4 4 5 5 5 7		CFIC CIGO DE NEZEZE DE	(LIGO DE CHANT THE	4	書で指示を行		員が修補指示	
Ⅱ. 品質			リート・鋼管・鋼管井筒、場所:	tr 烫磁笙\】				された。	-	た。	C 11 2
4. 四貝			/ 「『・調音・調音弁局、場が!! 修痕が無いことが確認できる				い以音	C16/-0		1-0	
			管理の方法及び場所打杭の	いることが唯認できる。							
			て、杭本体を損傷していない								
			等が、設計図書を満足してい								
			に関して、設計図書の仕様を								
		■ 支持地盤に達して	ていることが、掘削深さ、掘削								
			て、トレミー管をコンクリートロ								
		掘削深度、排出	土砂、孔内水位の変動及び3	安定液を用いる場合の孔内の	D安定液濃度並びに比重等か	バ、① 当該「評価対象項目」	」のうち、対	象としない項	目は削り	除する。	
		設計図書を満足し	していることが確認できる。			② 削除項目のある場合	は削除後の	D評価項目数	を母数。	として計算した」	比
		配筋、スペーサー	-の配置及びコンクリート打記	価する。							
		ライナープレートの	の組み立てにあたり、偏心と	③ 評価値(%)=該	当項目数()/評価対	付象項目	目数()			
		裏込材注入の圧	力などが施工記録により確認	④ なお、削除後の評価	対象項目数	が2項目以下	の場合	はc評価とする)		
					4を整理していることが確認で		<u> </u>				
		その他	,		1	●判断基準					
		理由:				9 1381221	ばらっ	つきで判断可	能	ばらつきで判	
		【地盤改良関係】					50%以下			断不可能	
				図書の仕様を満足していること	レが確認できる	90%以上	a	a'	b	b	
				等の管理資料を整理している		75%以上90%未満	a,	b	b'	b'	
				等の自理員科を選項している 要添加量の設定等を行って		価 60%以上75%未満	a b	b'			
		7 1000 - 2000 0000		を必加重の設定寺を行って 十分な強度及び支持力を確信					С	С	
			に収及されているとともに、	下分は独及及び又持力を唯1	未していることが唯認できる。 コ	60%未満	b'	С	С	С	
		その他			>> >= PEG 40	+ E		- 18-1-1-1	- ^ · · -		·
		理由:				吉果の打点数等が少なくばら 	っつきの判題	かできない	易合は評	半恤对家項目(語	泮価値)
	_ 14		,			評価する。					
	エ種	a	a´	b	b'	С		d	. е		
	9海岸工事			覆行状況(評価値)から判断	する。<判断基準参照>			係の測定方法		品質関係の測	
			工管理基準、その他設計図					定値が不適け		又は測定値が	
			-4参照。□ばらつきが概ね50%	6以内、□ばらつきが概ね80%以	ໄ内、□ばらつきが80%を超える.	、口ばらつきで判断不可能	であっ	たため、監督		であったため、	
		●評価対象項目					員が文	書で指示を行	Ţ	員が修補指示	を行っ
		コンクリートの圧約	縮強度を管理し、必要な強度	ξに達した後に型枠及び支保	工の取り外しを行っていること	とが <u>確認できる。</u>	い改善	された。		た。	
		運搬、打設、締め)固めが、気象条件に適して	おり、設計図書の仕様を満足	していることが確認できる。	① 当該「評価対象項目	」のうち、対	象としない項	目は削り	除する。	
		圧縮強度試験に	使用したコンクリート供試体を	が当該現場の供試体である。	ことが確認できる。	② 削除項目のある場合	は削除後の	D評価項目数	を母数。	として計算したよ	比
		コンクリートブロッ	クの転置及び仮置にあたっ	て、強度確認を行っている。		率(%)計算の値で評	価する。				
		転倒や崩壊等が	無いようコンクリートブロック	の仮置を行っていることが確	認できる。	③ 評価値(%)=該	当項目数()/評価対	付象項目]数()	
		捨石基礎の均し	面を平坦に仕上げていること	:が確認できる。		④ なお、削除後の評価:	対象項目数	が2項目以下	下の場合	aはc評価とする	, II I
		工事期間中、1 日	日1回は潮位観測を実施して	記録していることが確認でき	る。	●判断基準					
		台風などの異常	気象に備えて施工前に避難		V	じらつきで判断	可能	ばらつきで	圳		
		できる。						える断不可能	1 3		
		その他「	90%以上	a	a'	b	b	7			
		理由:	評 75%以上90%未		b	b'	b'				
		<u>~</u> 在田.	価 60%以上75%未		b'	С	С	-			
				60%未満	b'	С	c	c	-		
				 !果の打点数等が少なくばら					 亚価値)		
						ほの打点数寺が少なくはら 評価する。	ノロッキョ町	い、ことない場	ᄞᄆᅜᄙ	-	ᅟᅟᄪᄖ
					たけ ぐま	TIMリる。					

考 査 項 目	エ 種	а	a'	b	b'	С	d	е
3. 出来形	⑩コンクリート橋	品質関係の試験結果の	ばらつきと評価対象項目の原		品質関係の測定方法	品質関係の測定方法		
及び	上部工事	[関連基準、土木工事施]	工管理基準、その他設計図	書に定められた試験]			又は測定値が不適切	又は測定値が不適切
出来ばえ	(PC及びRCを	※ ばらつきの判断は別紙ー	4参照。□ばらつきが概ね50%	以内、□ばらつきが概ね80%以	【内、□ばらつきが80%を超える.	、口ばらつきで判断不可能	であったため、監督職	であったため、検査職
	対象)	●評価対象項目					員が文書で指示を行	員が修補指示を行っ
Ⅱ. 品質		コンクリートの配合	≧試験及び試験練りを行って	おり、コンクリートの品質(強)	度∙w╱c、最大骨材粒径、塩	[化物総量、単位水量、	い改善された。	た。
		アルカリ骨材反応	:抑制等)が確認できる。					
		コンクリート受けり	しれ時に必要な試験を実施し	しており、温度、スランプ、空気	気量等の測定結果が確認で	きる。		
		圧縮強度試験に値	使用したコンクリートの供試(本が、当該現場の供試体であ	らることが確認できる。			
		施工条件や気象の	条件に適した運搬時間、打設	足していることが確認				
		できる。(寒中及び	(暑中コンクリート等を含む)					
		コンクリートの圧縮	宿強度を管理して、必要な強	ことが確認できる。				
		鉄筋の品質が、証	E明書類で確認できる。					
		鉄筋の引張強度を	及び曲げ強度の試験値が、					
			きでにさび、どろ、油等の有害	る。				
		上上 圧接作業にあたり	り、作業員の技量確認を行っ					
				満足していることが確認できる	3 .			
				足していることが確認できる。				
				とめられた条件を満足してい 				
				図書の仕様を満足しているこ				
				を事前に実施していることがで				
				段計図書の仕様を満足してい				
				が、設計図書の仕様を満足し *た恙生多性になかれた供記		☆土 フ		
					ば体を用いていることが確認で 場合、無処理にしていた場合に			
		評価とする)	よソフツンが無い。(「進1」注)	又は有音なソフツンかのの」は	うロ、無処理にしていた場合に	att がに心し Cd 又ise		
		その他			٦			
		理由:						
		<u>г</u> ди.						
		① 当該「評	平価対象項目」のうち、対象と	としない項目は削除する。				
		② 削除項	目のある場合は削除後の評	『価項目数を母数として計算し	した比率(%)計算の値で評価	iする。		
		③ 評価値	(%)=該当項目数()/評価対象項目数()				
		④ なお、肖	川除後の評価対象項目数が	2項目以下の場合はc評価と	:する。			
		<u></u>						
		●判断	基準					
			ばら	つきで判断可能 ばらつ	きで判			
			50%以下	80%以下 80%を超える 断不可	能			
		90%	6以上 a),			
		14th ——	%以上90%未満 a'					
			6以上75%未満 b					
		60%	%未満 b'					
		_\= <u>\</u> \=\\\	ヘ ↓- - 少しかた ミ 」, ↓- / ド ヽ - →					
		注)試験結果(の打点数等が少なくばらつき	ご評価りる。				

(検 杳 昌)

								(八五天/
考 査 項 目	エ 種	а	a'	b	b'	С	d	е
3. 出来形	⑪塗装工事	品質関係の試験結果のばら	つきと評価対象項目の	履行状況(評価値)から判断す	よる. <判断基準参昭>		品質関係の測定方法	品質関係の測定方法
及び	<u></u>				, 0° (11015-5 m)		又は測定値が不適切	又は測定値が不適切
		[関連基準、土木工事施工管						
出来ばえ		※ ばらつきの判断は別紙-4参	照。口ばらつきが概ね509	6以内、□ばらつきが概ね80%以	内、口ばらつきが80%を超える	、口ばらつきで判断不可能	であったため、監督職	であったため、検査職
		●評価対象項目					員が文書で指示を行	員が修補指示を行っ
Ⅱ. 品質		参装作業にあたり、2	金布面を十分に乾燥させ	て施工していることが確認で	きる。		い改善された。	た。
HH X			していることが確認できる		1 4 H C 1 5 / C 0	720		
					187カミコーナフ			
				い、塗装作業を行っていること				
		┃	し、容器の塗料を均一な	は状態にしてから使用している	ことが確認できる。			
		┃ ┃ ┃ 鋼材表面及び被塗装	面の汚れ、油類等を除	去し塗装を行っていることが研	笙認できる。			
		参料の空缶管理につ	いて写直等で確実に空	であることが確認できる。				
			わ等が無く塗装されてい					
					・ カルー・ファーしょうかきのっぱ	t. 7		
				3分について、必要な塗膜厚を		ぎる。		
		┃	E明書、塗料成績表によ	り、製造年月日、ロット番号、1	色彩、数量が確認できる。			
		その他			7			
		理由:						
		етщ.						
		Ø ₩ =± Γ=± /=	114-50.014 114	1 1 4-1 1-1 TO 1 1 WORK - 1 7				
				としない項目は削除する。				
		② 削除項目の	かある場合は削除後の評	平価項目数を母数として計算し	んた比率(%)計算の値で評価	iする。 ∥		
		③ 評価値(%)=該当項目数()/評価対象項目数()				
		④ なお、削除	後の評価対象項目数が	2項目以下の場合はc評価と	する。			
		<u> </u>	NATION ALIAN		7 90	<u>-</u>		
		A Mariller ##	West .					
		●判断基						
			ばら	つきで判断可能 ばらつき				
			50%以下	80%以下 80%を超える 断不可	能			
		90%以	LL a	a' b b	5			
		評 750/ P	上90%未満 a'	b b' b	,			
		1 th	. I == 0 / I Mb					
		1/18	上75%未満 b	b' c c				
		60%未	·満 b'	с с с	:			
		· ·						
		注)試験結果のお	「点数等が少なくばらつき	きの判断ができない場合は評	価対象項目(評価値)だけで	*評価する。		
		127 137 147 147 147						
							<u> </u>	

(検 杳 昌)

							1	(人五六/
考 査 項 目	エを種	а	a'	b	b'	С	d	е
3. 出来形	13植栽工事			履行状況(評価値)から判断す	する。<判断基準参照>		品質関係の測定方法	品質関係の測定方法
及び		[関連基準、土木工事施	工管理基準、その他設計図	書に定められた試験]			又は測定値が不適切	又は測定値が不適切
出来ばえ			-4参照。□ばらつきが概ね50%	以内、□ばらつきが概ね80%以	内、口ばらつきが80%を超える	、口ばらつきで判断不可能	であったため、監督職	であったため、検査職
		● <u>評価対</u> 象項目					員が文書で指示を行	員が修補指示を行っ
Ⅱ. 品質		活着が促されるよ	よう 管理していることが確認で	ごきる 。			い改善された。	た。
		樹木などに損傷、	はちくずれ等が無いよう保護	養生を行っていることが確認	見できる。			
		樹木等の生育に	害のある害虫等がいないこと	こが確認できる。				
				な手入れを行っていることが		① 当該「評価対象項目	」のうち、対象としない項目は	削除する。
				も肥していることが確認できる		② 削除項目のある場合	は削除後の評価項目数を母	ł数として計算した比
				り植穴底部を耕していること	が確認できる。	率(%)計算の値で評		
			「ないよう設置していることが				当項目数()/評価対象	
			さすい場所に据付けているこ	とが確認できる。		④ なお、削除後の評価	対象項目数が2項目以下の	場合はc評価とする。
		その他						
		理由:				●判断基準		
							ばらつきで判断可	
							50%以下 80%以下 80%	を超える 断不可能
						90%以上	a a'	b b
						75%以上90%未		b' b'
						值 60%以上75%未		СС
						60%未満	b' c	СС
					·— · · · · · · · ·	結果の打点数等が少なくばら	っつきの判断ができない場合	は評価対象項目(評価値)
			т .			評価する。	,	ı
	工種	a = 5 5 5 6 4 5 5	a´	b	b'	С	d	0
	④防護柵(網)・			覆行状況(評価値)から判断す	する。<判断基準参照>		品質関係の測定方法	品質関係の測定方法
	標識·区画線等 設置工事		工管理基準、その他設計図		+ F#: -+ 16000 + th = 7	ロはこっナールルディフル	又は測定値が不適切	■ 又は測定値が不適切 ■ スカー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カ
			-4参照。口はらつさか概ね50%	以内、□ばらつきが概ね80%以	内、口は6つさか80%を超える	、口はらつさで判断不可能	であったため、監督職	であったため、検査職
		●評価対象項目 □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	加纳沃道博凯罢甘淮 送吹	標識ハンドブック等の規定を	港中! ナハスニレが疎初でさ	= Z	員が文書で指示を行 い改善された。	員が修補指示を行っ た。
				供職ハンドノック寺の規定を 山の乱れや不陸が生じない。			い以告された。	120
				ひが鉄筋コンクリートの規定を				
				といいがコンクリートの焼足を も面へ影響が無いよう施工し		: ∕₀		
				₹画へ影音が無いよう過土し して、施工していることが確認				
				とこ。他工していることが確認で を満足していることが確認で		① 坐試[証無対象項目	<u> </u> 」のうち、対象としない項目は	- 判除士工
				を		11 -		
				る音に足められたが足の扱う 場合、打設したコンクリートが		_		数として可弄した比
		以上であることが		「物口、」」以したコンプラーな	一、以口囚首に足のりからに出		Ⅲ9分。 当項目数()/評価対象	百日粉()
)使用量が、10%以下である	ニレが確認できる		対象項目数が2項目以下の	
				満足していることが確認できる		(元) (A00、円)(水)(文(V)) [[[[]]	<u> </u>	物口はCFTMC 9 0。
				設計図書の仕様を満足してし		●判断基準		
				尼、砂じん及びほこりを取り除			ばらつきで判断	可能 ばらつきで判
				た、りじん及いはこうと取り。 除去となっており、路面への影				80%を超える 断不可能
		確認できる。	の 日 、 ないいい (主作7/0/0/0/)	ッムこう > Cの)、四田 、O)		90%以上	a a'	b b
			「にあたって、路面に均等にシ	塗布していることが確認できる		75%以上90%		b' b'
			、設計図書の仕様を満足して		, 0	価 60%以上75%		ССС
		その他			٦	他 60%未満	b' c	c c
		理由:			注)試驗經	 き果の打点数等が少なくばら		
		<u>с</u> ±щ.				エスの打点数サルフないあり 評価する。	- C 47 13 15 17 C C . G 4 3 15 1	
					1-11	HI 1 1 V O		

(A 杏 昌)

考 査 項 目	エ 種	а	a'	b	b'	С	d	е
3. 出来形	15電線共同溝工	品質関係の試験結果の	ばらつきと評価対象項目の)履行状況(評価値)から判断	する。<判断基準参照>		品質関係の測定方法	品質関係の測定方法
及び	事	[関連基準、土木工事施]	工管理基準、その他設計図	図書に定められた試験]			又は測定値が不適切	又は測定値が不適切
出来ばえ		※ ばらつきの判断は別紙ー	·4参照。口ばらつきが概ね50	%以内、□ばらつきが概ね80%」	以内、□ばらつきが80%を超える	、口ばらつきで判断不可能	であったため、監督職	 であったため、検査職
		●評価対象項目					員が文書で指示を行	員が修補指示を行っ
Ⅱ. 品質		指定材料の規格が	が、品質を証明する書類で	確認できる。			い改善された。	<i>t</i> =。
				ら全箇所が導通していることが	が確認できる。			0
		プラント出荷時、耳	見場到着時、舗設時等にお	いて、アスファルト混合物の	品度管理が記録していること <i>。</i>	が確認できる。		
		特殊部の施工基礎	面の支持力が、均等となる	ようにかつ不陸が無いように	仕上げていることが確認でき	る。		
		特殊部等の施工	において、隣接する各ブロ	ックに目違いによる段差及び!	・ 蛇行等が無いよう敷設してい	ることが確認できる。		
		埋戻しにおいて、	設計図書の仕様を満足して	ていることが確認できる。				
		舗装の復旧等が	適時行われ、路面の沈下や	って陸が無く平坦性を確保して	ていることが確認できる。			
		管枕及び埋設シー	ートの設置及び土被りが、	役計図書の仕様を満足してい	ることが確認できる。			
		管設置において、	それぞれの管の最小曲げ	半径を満足していることが確	認できる。			
		その他]			
		理由:						
		① 当該「評	平価対象項目」のうち、対象	としない項目は削除する。				
		② 削除項	目のある場合は削除後の	評価項目数を母数として計算	した比率(%)計算の値で評価	重する。		
		③ 評価値	(%)=該当項目数()/評価対象項目数()				
		④ なお、肖	削除後の評価対象項目数カ	が2項目以下の場合はc評価。	とする。			
		<u></u>						
		●判断	ř 基準					
			ばら	っつきで判断可能 ばらつ	きで判			
			50%以	下 80%以下 80%を超える 断不す	可能			
		90%	%以上 a	a' b	b			
		評 75%	%以上90%未満 a'	b b'	b'			
		個 60%	%以上75%未満 b	b' c	С			
		60%	%未満 b'	СС	С			
				· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·				
		注)試験結果(の打点数等が少なくばらつ	きの判断ができない場合は認	平価対象項目(評価値)だけて	ご評価する。		

考査項目	エを種	а	a'	b	b'	С	d	е
			а	ь	ь	<u> </u>		
3. 出来形	○ . _ .		口筋 化比茨比克内之七八	ムヘロセル・オンマナルかつ	たきウ かかした マンフェ	1. ↓\$T\$=₹1 ↑ フ	品質関係の測定方法	品質関係の測定方法
及び	(清掃工、除草			かつ現場において材料確認で		とか唯認できる。	又は測定値が不適切	又は測定値が不適切
出来ばえ	工、付属物工、			策を施していることが確認で			であったため、監督職	であったため、検査職
	除雪、応急処理		事項に対して、現地状況を甚	加案し、施工方法や構造につ	いての提案を行うなど積極的	りに取り組んでいることが	員が文書で指示を行	員が修補指示を行っ
Ⅱ. 品質	等)	確認できる。					い改善された。	た。
			おいて、迅速かつ適切に対応	いしていることが確認できる。				
		理由:						
		理由:						
		理由:						
		理由:						
		工工						
		●判断基準						
		●刊刷率平 ※ 該当項目が6項目以	F					
		※ 該当項目が5項目・・						
		※ 該当項目が4項目・・						
		※ 該当項目が3項目・・						
		※ 該当項目が2項目以 ※ 該当項目が2項目以						
				也に適宜項目を追加して評価	it るものとせる			
			もの計画が象項目とし、この 目は最大8項目とする。	61〜旭耳独口で足加して計画	19 20072 9 200			
	工 種	/こ/こし、計画が多久	a'	b	b'	С	d	e
		 ●評価対象項目	<u> </u>	~		1 0	品質関係の測定方法	品質関係の測定方法
	(橋脚補強、		品質・形状等が適切であり.	かつ現場において材料確認?	キ適官・的確に行っているこ。	レが確認できる。	又は測定値が不適切	又は測定値が不適切
	耐震補強、			策を施していることが確認で			であったため、監督職	であったため、検査職
	落橋防止等)			加案し、施工方法や構造につ		りに取り組んでいることが	員が文書で指示を行	員が修補指示を行っ
		確認できる。					い改善された。	t=.
		施工後のメンテナ	-ンスに対する提言や修繕サ	・イクル等を勘案した提案等を	そ行っていることが確認できる	3.		
		理由:						
		理由:						
		理由:						
		-m .						
		理由:						
		▲小小大井海						
		●判断基準 ※ 該当項目が6項目以	L					
		※ 該当項目が5項目・・						
		※ 該当項目が4項目・・※ 該当項目が3項目・・						
			=					
		※ 該当項目が2項目以	• =	ルル本京はロナカヤリマミク	-+7+0L+7			
				也に適宜項目を追加して評価	19 るもいと9 る。			
		/こ/こし、計価刈家埧	目は最大8項目とする。					

(検 杳 昌)

│ 考 杳 項 目			,					(検査員)
, . ,	エ 種	a	a′	b	b'	С	d	е
3. 出来形	10機械設備工事		bより優れている	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない	品質関係の測定方法	品質関係の測定方法
及び		● <u>評価対象</u> 項目					又は測定値が不適切	又は測定値が不適切
出来ばえ		材料、部品の品質	質照合の書類(現物照合)を	整理し品質の確認ができる。			であったため、監督職	であったため、検査職
		設備の機能及び	性能が、承諾図書のとおり紹	保され、品質の確認ができる	5.		員が文書で指示を行	員が修補指示を行っ
Ⅱ. 品質				承諾図書として提出している			い改善された。	た。
				され、品質の確認ができる。	7 - C 7 FE 110 C C C C		5 3/1 C 1 5/2 0	720
				質管理書類を整理し品質の研	空辺ができる			
				質管理書類を整理し品質の研				
						ニレが体団ベキス		
				灯が承諾図書のとおり配置さ				
				後能・性能確認試験について、		重認か ぐざる。		
				敷設していることが確認でき	්			
			書を工夫していることが確認					
				交換方法について、まとめて	いることが確認できる。			
			検しやすいよう工夫している					
		┃ 設備の構造や機	器の配置が、交換頻度の高	い部品等の交換作業を容易	にできるよう工夫しているこん	とが確認できる。		
		二 二 二次コンクリートの	の配合試験及び試験練りを乳	実施し、試験成績表にまとめ [・]	ていることが確認できる。			
		バルブ類の平時	の状態を示すラベルなどが見	見やすい状態で表示している	ことが確認できる。			
		計器類に運転時	の適用範囲を見やすく表示し	していることが確認できる。				
		回転部や高温部	等の危険箇所に表示又は防	護をしていることが確認でき	る。			
				策を施していることが確認で				
				案を行うなど積極的に取り約				
		その他				ĺ Γ		
		理由:						
		●判断基準						
		※ 評価値が90%以上・						
		※ 評価値が80%以上90 ※ 評価値が80%以上90		刻評価対象項目 1のうち、対	免としたい 15日 11 割除する		'	
				淡' 計画対象項目」のプラ、対 徐項目のある場合は削除後(☆ 体 士 z ┃	
		※ 評価値が70%以上80					評Ⅲ9る。	
		※ 評価値が60%以上70		西値(%)=該当項目数(5、削除後の評価対象項目数				
		※ 評価値が60%未満・	(4) /4.a	5、削除後の評価対象項目数	か2項目以下の場合はC評	<u>්කැඋඉබ.</u>		
	工 種		a'	b	b'	С	d	
	<u>・・・・程</u> 19電気設備工事	<u>a</u> 優れている	a bより優れている	 やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない	u 品質関係の測定方法	e 品質関係の測定方法
	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	●評価対象項目	りより優れている	でで優れている	じより度れている	他の計画に該当しない	スは測定値が不適切	スは測定値が不適切
			3 所 仏性化の体化になりせる	たたみが中体していてこしが	空気 マキフ			
				析検討が実施していることが 第7月11日第20年のセンス第37		コーナ・フェールジャーコーナフ	であったため、監督職	であったため、検査職
				等(現物照合を含む)で確認で	じさ、設計凶書の仕様を満足	Eしていることか傩認でさる。	員が文書で指示を行	▍ 員が修補指示を行っ │
							=1 24 1. 1 1.	
1					こいることが確認できる。		い改善された。	t:.
		操作スイッチや表	表示灯が承諾図書のとおり配	置され、操作性に優れている	ことが確認できる。	1 10=4-7 _ 1 7	い改善された。	
		操作スイッチや表ケーブル及び配作	表示灯が承諾図書のとおり配 きの接続などの作業が、施コ	置され、操作性に優れている ニ計画書に記載された手順に	ことが確認できる。 沿って行われ、不具合が無	いことが確認できる。	い改善された。	
		操作スイッチや表 ケーブル及び配覧 設備の機能及び	表示灯が承諾図書のとおり配 管の接続などの作業が、施コ 性能が、設計図書の仕様を	置され、操作性に優れている ニ計画書に記載された手順に 満足していることが確認できる	ことが確認できる。 沿って行われ、不具合が無 る。		い改善された。	
		操作スイッチや表 操作スイッチや表 ケーブル及び配行 設備の機能及び 操作制御関係の材	₹示灯が承諾図書のとおり配 きの接続などの作業が、施コ 性能が、設計図書の仕様を決 後能及び性能が、設計図書の	置され、操作性に優れている こ計画書に記載された手順に 満足していることが確認できる 士様を満足しているとともに、必	ことが確認できる。 沿って行われ、不具合が無 る。		い改善された。	
		操作スイッチや表 ケーブル及び配作 設備の機能及び 操作制御関係の材 設備の総合性能	₹示灯が承諾図書のとおり配 ・	置され、操作性に優れている こ計画書に記載された手順に 満足していることが確認できる 士様を満足しているとともに、必 していることが確認できる。	っことが確認できる。 沿って行われ、不具合が無 る。 3要な安全装置及び保護装置	の作動が確認できる。	い改善された。	
		操作スイッチや表 ケーブル及び配作 設備の機能及び 操作制御関係の材 設備の総合性能	₹示灯が承諾図書のとおり配 ・	置され、操作性に優れている こ計画書に記載された手順に 満足していることが確認できる 士様を満足しているとともに、必	っことが確認できる。 沿って行われ、不具合が無 る。 3要な安全装置及び保護装置	の作動が確認できる。	い改善された。	
		操作スイッチや表 ケーブル及び配作 設備の機能及び 操作制御関係の材 設備の総合性能 現場条件によって	示灯が承諾図書のとおり配 章の接続などの作業が、施コ 性能が、設計図書の仕様を 機能及び性能が、設計図書の が、設計図書の仕様を満足して が、設計図書の機能及び性能 に機器(製品)の機能及び性能	置され、操作性に優れている こ計画書に記載された手順に 満足していることが確認できる 士様を満足しているとともに、必 していることが確認できる。	っことが確認できる。 沿って行われ、不具合が無る。 る。 な要な安全装置及び保護装置 て、工場試験などで確認して	の作動が確認できる。	い改善された。	
		操作スイッチや表 ケーブル及び配作 設備の機能及び 操作制御関係の材 設備の総合性能 現場条件によって 設備全体につい	京六灯が承諾図書のとおり配 章の接続などの作業が、施コ 性能が、設計図書の仕様を 機能及び性能が、設計図書の が、設計図書の仕様を満足して で、設計図書の機能及び性能 での取扱説明書を工夫し作り	置され、操作性に優れている こ計画書に記載された手順に 満足していることが確認できる 士様を満足しているとともに、必 していることが確認できる。 こが確認できない場合におい	ことが確認できる。 沿って行われ、不具合が無る。 5。 5要な安全装置及び保護装置 て、工場試験などで確認して 場合は、修正又は更新)して	の作動が確認できる。	い改善された。	
		操作スイッチや表 ケーブル及び配作 設備の機能及び 操作制御関合性能 現場条件によって 設備タ本につい 完成図書で定期	表示灯が承諾図書のとおり配 管の接続などの作業が、施コ 性能が、設計図書の仕様を 機能及び性能が、設計図書の が、設計図書の仕様を に機器(製品)の機能及び性 にの取扱説明書を工夫し作 の取扱説明書を工夫し作り のな点検や交換を要する部	置され、操作性に優れている 計画書に記載された手順に 満足していることが確認できる 士様を満足しているとともに、必 していることが確認できる。 診が確認できない場合におい	っことが確認できる。 沿って行われ、不具合が無5。 5要な安全装置及び保護装置 て、工場試験などで確認して 場合は、修正又は更新)して とが確認できる。	の作動が確認できる。 いることが確認できる。 いることが確認できる。	い改善された。	
		操作スイッチや表 ケーブル及び配作 設備の機能及び 操作制御関合性能 現場条件によって 設備タ本につい 完成図書で定期	表示灯が承諾図書のとおり配 管の接続などの作業が、施コ 性能が、設計図書の仕様を 機能及び性能が、設計図書の が、設計図書の仕様を に機器(製品)の機能及び性 にの取扱説明書を工夫し作 の取扱説明書を工夫し作り のな点検や交換を要する部	置され、操作性に優れている 二計画書に記載された手順に 満足していることが確認できる 土様を満足しているとともに、必 していることが確認できる。 が確認できない場合におい	っことが確認できる。 沿って行われ、不具合が無5。 5要な安全装置及び保護装置 て、工場試験などで確認して 場合は、修正又は更新)して とが確認できる。	の作動が確認できる。 いることが確認できる。 いることが確認できる。	い改善された。	
		操作スイッチや表 ケーブル及び配作 設備の機能及び 操作制御関合性能 現場条件によっい 完成図書で定期 設備の構造におい	表示灯が承諾図書のとおり配 管の接続などの作業が、施コ 性能が、設計図書の仕様を 機能及び性能が、設計図書の が、設計図書の仕様を に機器(製品)の機能及び性 にの取扱説明書を工夫し作 の取扱説明書を工夫し作り のな点検や交換を要する部	置され、操作性に優れている 二計画書に記載された手順に 満足していることが確認できる 土様を満足しているとともに、必 していることが確認できる。 が確認できない場合におい	っことが確認できる。 沿って行われ、不具合が無5。 5要な安全装置及び保護装置 て、工場試験などで確認して 場合は、修正又は更新)して とが確認できる。	の作動が確認できる。 いることが確認できる。 いることが確認できる。	い改善された。	
		操作スイッチや表 ケーブル及び配が 設備の機能及び 操作制御関係のお 設備の総合性もつ 設備全体につい 完成の構 設備の機 会体にお その他	表示灯が承諾図書のとおり配 管の接続などの作業が、施コ 性能が、設計図書の仕様を 機能及び性能が、設計図書の が、設計図書の仕様を に機器(製品)の機能及び性 にの取扱説明書を工夫し作 の取扱説明書を工夫し作り のな点検や交換を要する部	置され、操作性に優れている 二計画書に記載された手順に 満足していることが確認できる 土様を満足しているとともに、必 していることが確認できる。 が確認できない場合におい	っことが確認できる。 沿って行われ、不具合が無5。 5要な安全装置及び保護装置 て、工場試験などで確認して 場合は、修正又は更新)して とが確認できる。	の作動が確認できる。 いることが確認できる。 いることが確認できる。	い改善された。	
		操作スイッチや表 ケーブル及び配作 設備の機能及び 操作制御関係の材 設備の終合性的 現場条件につい 完成成図構造にで定期 設備の機 その他	示灯が承諾図書のとおり配 管の接続などの作業が、施コ 性能が、設計図書の仕様を 機能及び性能が、設計図書の仕様を満足 が、設計図書の仕様を満足 で機器(製品)の機能及び性能 での取扱説明書を工夫し作 いな点検や交換を要する部 いて、点検や消耗品の取替	置され、操作性に優れている 二計画書に記載された手順に 満足していることが確認できる 土様を満足しているとともに、必 していることが確認できる。 が確認できない場合におい	っことが確認できる。 沿って行われ、不具合が無5。 5要な安全装置及び保護装置 て、工場試験などで確認して 場合は、修正又は更新)して とが確認できる。	の作動が確認できる。 いることが確認できる。 いることが確認できる。	い改善された。	
		操作スイッチや表 ケーブル及び配作 設備の機能及の 操作制御関係の材 設備の総合性能 現場条件につい 完成図書 で定成図構造にの 表の他 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	示灯が承諾図書のとおり配言の接続などの作業が、施コ性能が、設計図書の仕様を満 機能及び性能が、設計図書の仕様を満足 が、設計図書の仕様を満足に機器(製品)の機能及び性能 ての取扱説明書を工夫し作り かな点検や交換を要する部 いて、点検や消耗品の取替	置され、操作性に優れているこ計画書に記載された手順に 満足していることが確認できる 士様を満足しているとともに、必 していることが確認できる。 どが確認できない場合におい 或(修繕(改造・更新含む)の 品及び箇所を明示しているこ え作業が容易にできるよう工	っことが確認できる。 沿って行われ、不具合が無る。 う要な安全装置及び保護装置 て、工場試験などで確認して 場合は、修正又は更新)して とが確認できる。 夫していることが確認できる	の作動が確認できる。 いることが確認できる。 いることが確認できる。	い改善された。	
		操作スイッチや表 ケーブル及び配作 設備の機能及の根 操作制御関係の材 設備の終合性能 現場条件につい 完成成図書構造にで定期 その他 型 担由: ●判断基準 ※ 評価値が90%以上・90	示灯が承諾図書のとおり配言の接続などの作業が、施コ性能が、設計図書の仕様を満くとの作業を対しまる。 では、設計図書の仕様を満足の機器(製品)の機能及び性前での取扱説明書を工夫し作りな点検や交換を要する部ので、点検や消耗品の取替が、、点検や消耗品の取替が、ないて、点検が消耗品の取替が、ないで、点検が消耗品の取替が	置され、操作性に優れているこ計画書に記載された手順に 満足していることが確認できる。 士様を満足しているとともに、必 していることが確認できる。 診が確認できない場合におい 或(修繕(改造・更新含む)のは 品及び箇所を明示しているこ え作業が容易にできるよう工 (変) 評価対象項目」のうち、対	っことが確認できる。 沿って行われ、不具合が無る。 う要な安全装置及び保護装置 て、工場試験などで確認して 場合は、修正又は更新)して とが確認できる。 夫していることが確認できる 象としない項目は削除する。	の作動が確認できる。 にいることが確認できる。 いることが確認できる。		
		操作スイッチや表 ケーブル及び配作 設備の機能及び 操作制御関合性能 設備象件につい 完成図書で定列 設備の構造によって 設備の構造に をの他 単田主 ※評価値が80%以上・9 ※評価値が70%以上8	示灯が承諾図書のとおり配 管の接続などの作業が、施コ 性能が、設計図書の仕様を 機能及び性能が、設計図書の仕 が、設計図書の仕様を 機器(製品)の機能及び性能 ての取扱説明書を工夫し作月 的な点検や交換を要する部 いて、点検や消耗品の取替 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	置され、操作性に優れているこ計画書に記載された手順に 満足していることが確認できる。 士様を満足しているとときに、必 していることが確認できる。 きが確認できない場合におい 或(修繕(改造・更新含む)の 品及び箇所を明示しているこ え作業が容易にできるよう工 「「評価対象項目」のうち、対 余項目のある場合は削除後の	っことが確認できる。 沿って行われ、不具合が無 5。 5要な安全装置及び保護装置 て、工場試験などで確認して 場合は、修正又は更新)して とが確認できる。 夫していることが確認できる 家としない項目は削除する。 D評価項目数を母数として言	の作動が確認できる。 にいることが確認できる。 いることが確認できる。 。		
		操作スイッチや表 ケーブル及び配作 設備の機能及の 操作制御関合性能 現場条件につい 完成図書でによい 完成図構造におい その他 単判断基準 ※評価値が90%以上・9 ※評価値が70%以上8 ※評価値が60%以上7	示灯が承諾図書のとおり配 管の接続などの作業が、施コ 性能が、設計図書の仕様を決 機能及び性能が、設計図書の仕様を 機能及び性能が、設計図書の仕様を及び性 で機取扱説明書を工夫し作り が、改計図書の仕様を及び性 での取扱説明書を工夫し作り かな点検や交換を要する部 いて、点検や消耗品の取替 ・・・・・。 1) 当 10%未満・・・。 (2) 削 2) 削 3) 評	置され、操作性に優れている 二計画書に記載された手順に 満足していることが確認できる。 土様を満足しているとともに、必 上様を満足しているとともに、必 立で確認できない場合におい 成(修繕(改造・更新含む)のは 品及び箇所を明示しているこ え作業が容易にできるよう工: (変) 評価対象項目」のうち、対 徐項目のある場合は削除後の 面値(%) =該当項目数(っことが確認できる。 沿って行われ、不具合が無 5。 5。 5要な安全装置及び保護装置 て、工場試験などで確認して 場合は、修正又は更新)して とが確認できる。 夫していることが確認できる 象としない項目は削除する。 り評価項目数を母数として言)/評価対象項目数(の作動が確認できる。 にいることが確認できる。 いることが確認できる。 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・		
		操作スイッチや表 ケーブル及び配作 設備の機能及び 操作制御関合性能 設備象件につい 完成図書で定列 設備の構造によって 設備の構造に をの他 単田主 ※評価値が80%以上・9 ※評価値が70%以上8	示灯が承諾図書のとおり配 管の接続などの作業が、施コ 性能が、設計図書の仕様を決 機能及び性能が、設計図書の仕様を 機能及び性能が、設計図書の仕様を及び性 で機取扱説明書を工夫し作り が、改計図書の仕様を及び性 での取扱説明書を工夫し作り かな点検や交換を要する部 いて、点検や消耗品の取替 ・・・・・。 1) 当 10%未満・・・。 (2) 削 2) 削 3) 評	置され、操作性に優れているこ計画書に記載された手順に 満足していることが確認できる。 士様を満足しているとときに、必 していることが確認できる。 きが確認できない場合におい 或(修繕(改造・更新含む)の 品及び箇所を明示しているこ え作業が容易にできるよう工 「「評価対象項目」のうち、対 余項目のある場合は削除後の	っことが確認できる。 沿って行われ、不具合が無 5。 5。 5要な安全装置及び保護装置 て、工場試験などで確認して 場合は、修正又は更新)して とが確認できる。 夫していることが確認できる 象としない項目は削除する。 り評価項目数を母数として言)/評価対象項目数(の作動が確認できる。 にいることが確認できる。 いることが確認できる。 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・		

考 査 項 目	エ 種	а	a'	b	b'	С	d	е
3. 出来形	20通信設備工事	優れている	bより優れている	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない	品質関係の測定方法	品質関係の測定方法
及び	受変電設備工事	●評価対象項目	•	•	•	•	又は測定値が不適切	又は測定値が不適切
出来ばえ		電気					であったため、監督職	であったため、検査職
		設計図書に定め	られている品質管理を実施し	していることが確認できる。			員が文書で指示を行	員が修補指示を行っ
Ⅱ. 品質		材料及び構成部	品の品質及び形状について	、設計図書等と適合が確認	できる証明書等を整備してい	いることが確認できる。	い改善された。	た。
		材料の品質照合	の結果が、品質保証書等(現	見物照合を含む)で確認でき	、設計図書の仕様を満足して	ていることが確認できる。		
		設備、機器の品質	質、機能及び性能が、成績等	で確認でき、設計図書の仕	様を満足していることが確認	思できる。		
		ケーブル及び配行	管の接続などの作業が、施コ	二計画書に記載された手順に	こ沿って行われ、不具合が無	無いことが確認できる。		
		設備全体としての	D運転性能が所定の能力を流	満足していることが確認でき	ა			
		完成図書におい	て、設備の機能並びに性能な	及び操作方法が容易に判別	できる資料を整備しているこ	とが確認できる。		
		完成図書におい	て、単体品の製造年月日及で	び製造者が判別できる資料を	を整備していることが確認で	きる。		
		設備全体及び各	機器において、設計図書に規	見定した品質及び性能を工場	易試験記録により確認できる	00		
		設備全体につい	ての取扱説明書を工夫してし	いることが確認できる。				
			的な点検や交換を要する部。					
			いて、点検や消耗品の取替	え作業が容易にできるようエ	夫していることが確認できる			
		その他						
		理由:						
		●判断基準						
		※ 評価値が90%以上・						
		※ 評価値が80%以上9						
		※ 評価値が70%以上8						
		※ 評価値が60%以上7						
		※ 評価値が60%未満・	с					
		- - -	評価対象項目」のうち、対象の					
			目のある場合は削除後の評		した比率(%)計算の値で評値	価する。∥		
			፱(%)=該当項目数(/· #1 / / / / / / / / / / / / / / / / /				
		<u>④ なお、i</u>	削除後の評価対象項目数が	2項目以下の場合はc評価。	とする。			

考査項目	エ 種	а	a'	b	b'	С	d	е
3. 出来形	(21) 建築工事	優れている	bより優れている	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない	品質の管理に関して	品質が不適切であっ
及び		●評価対象項目					監督職員が文書で指示	たため、工事請負契約
出来ばえ		材料・製品の品質	質が,製作図等により確認で	き、設計図書を満足している	ことが確認できる。		を行い、改善された。	 書第31条に基づく修補
		施工の各段階に	おける完了時の試験及び記			指示を検査職員が行っ		
Ⅱ. 品質		材料の品質確認	2記録の内容が,適切である	こと確認できる。				た。
		品質の確認結果	具が, 分かりやすく整理されて	いることが確認できる。				
		施工の品質が通	適切であり,設計図書を満足し	していることが確認できる。				
		建具, ユニット等	の性能及び機能に関する確	認方法が適切であり、記録の	の内容が設計図書を満足し	ていることが確認できる。		
		躯体工事におけ	る施工の品質が,施工記録	により確認でき、良好である。	ことが確認できる。			
		内外仕上げ工事	いいおける施工の品質が、施	工記録等により確認でき、良	好であることが確認できる。	0		
		その他の工事(躯体・内外仕上げを除く)にお	らける施工の品質が, 施工記	録等により確認でき、良好で	であることが確認できる。		
		不可視部分とな	る品質が, 工事写真, 施工詞	己録により確認できる。				
		1 11 1 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11	₹検査での工夫や良好な施コ	この品質が,継続して確認で	きる。	_		
		その他						
		理由:						
		●判断基準						
		※ 評価値が90%以上・	·····a					
		※ 評価値が80%以上9	0%未満···a'					
		※ 評価値が70%以上8	0%未満 ・・・ b					
		※ 評価値が60%以上7	0%未満···b'					
		※ 評価値が60%未満・	с					
		<u> </u>						
		U - A	評価対象項目」のうち、対象。					
			自のある場合は削除後の評		した比率(%)計算の値で評値	価する。┃		
		U - 1 - 1	፬(%)=該当項目数(
		④ なお、	削除後の評価対象項目数が	<u>2項目以下の場合はc評価と</u>	<u>:する。</u>			
								

考査項目	エ 種	а	a'	b	b'		С		d		е	
3. 出来形	(22) 管水路工事	品質関係の試験結果の	ばらつきと評価対象項目の	覆行状況(評価値)から判断	する。<判断基準	準参照>		品質関	係の測定方	ī法	品質関係の測定力	<u></u>
及び		[関連基準、土木工事施	工管理基準、その他設計図	書に定められた試験]				又は測	定値が不適	5切	又は測定値が不適	適切
出来ばえ		※ ばらつきの判断は別紙-	-4参照。□ばらつきが概ね50%	 6以内、□ばらつきが概ね80%じ	↓内、□ばらつきが	80%を超える、	□ばらつきで判断不可能	であっ	たため、監督		であったため、検査	
		●評価対象項目							書で指示を		員が修補指示を行	
Ⅱ. 品質			質昭合の書類(現物昭合)が	整理され、品質の確認ができ	5.Z				された。	''	た。	, _
ш. нн ж			性能が確保され、品質の確認		. . •			• •	C.10720		720	
			品等が適切に保管されている									
				計図書に基づく適正な施工が	が確認できる							
				可因音に塞って過止な心エス 適切で品質の確認ができる。								
			設置位置並びに施工が適切		- D 66 A TW-51 LS-	-+.7						
				イント間隔等)も適正な施工で								
				こ基づき適切に施工されて品			② ν=+Γ==/π+1.4-== □	. ~ 1	4 -11 4-1. - 2	F D (+ 1/4)	15人 上 7	_
				が、工場の試験成績書・配合								
		規格(強度・W/C		り評価項目の	汲を母致	として計算した比						
				ており、温度、スランプ、空気:			- 1		\ /		- w ()	
				が、当該現場の供試体である			③ 評価値(%)=該					
				设時の投入高さ及び締固め方 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	ī法が、定められ	た条件を満足	望 ④ なお、削除後の評価:	対象項目数	び2項目以	<u>下の場合</u>	<u>}はc評価とする。</u>	
			認できる。(寒中及び暑中コ		. =		- 1 11 - 11 - 11					
			縮強度を管埋し、必要な強度	Eに達した後に型枠及び支保	エの取り外しを	行っていること	●判断基準	. 10 -) luttle	2.612	T	
		が確認できる。			_				つきで判断す		ばらつきで判	
				こ行っていることが確認できる	5.		1	50%以下	80%以下 8	0%を超える	断不可能	
			証明書類で確認できる。				90%以上	a	a'	b	b	
				物が鉄筋に付着しないよう管	理していることが	が確認できる。	1111	a'	b	b'	b'	
			組立が設計図書を満足して				值 60%以上75%未満	b	b'	С	С	
				を満足していることが確認で	きる。		60%未満	b'	С	С	С	
			が適正であることが確認でき	きる。	_							
		その他					課の打点数等が少なくばら	つきの判題	折ができない	場合は記	评価対象項目(評価	i値)
		理由:					平価する。					
	エ種	a	a'	b	b'		С		d	е		
	(23) 畑地かんが			覆行状況(評価値)から判断	する。<判断基準	準参照>			係の測定方		品質関係の測定力	
	い		工管理基準、その他設計図					_	定値が不適	_	又は測定値が不適	
			−4参照。□ばらつきが概ね50%	6以内、□ばらつきが概ね80%以	↓内、□ばらつきが	80%を超える、	□ばらつきで判断不可能		たため、監督		であったため、検査	
		● <u>評価対</u> 象項目							書で指示を	行	員が修補指示を行	つ
				整備され、品質が確認できる	0		-		された。		<i>t</i> -。	
			品等が適切に保管されている				① 当該「評価対象項目					
				設計図書に基づく適正な施工		できる。	② 削除項目のある場合		の評価項目数	汝を母数	として計算した比	
				適切で品質の確認ができる。			率(%)計算の値で評					
			設置位置並びに施工が適切				③ 評価値(%)=該					
				イント間隔等)も適正な施工で			④ なお、削除後の評価:	対象項目数	なが2項目以	<u>下の場合</u>	<u>}はc評価とする。</u>	
		10 11 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 1		こ基づき適切に施工されて品) 。	●判断基準					
		給水栓で適正な	水圧が確認され、適切な散力	kも確保できていることが確認	忍できる。			Vä	ばらつきで判	断可能	ばらつきで判	
			状況が適切かつ良好な品質	が確認できる。		_		50%以	下 80%以	下 80%を超	^{毀える} 断不可能	
		その他					⇒ 90%以上	a	a'	b	b	
								満 a'	b	b'	' b'	
						_	値 60%以上75%未	満 b	b'	С	С	
							60%未満	b'	С	С	С	
						注)試験結	果の打点数等が少なくばら	つきの判断	fができない:	場合は評	F価対象項目(評価	値)
						だけで記	平価する。					

考查項目	工種	а	a'	b	b'	С	d	(快宜貝) e
3. 出来形	(24) 農道工事		ばらつきと評価対象項目の		■	<u> </u>	品質関係の測定方法	品質関係の測定方法
及び	(舗装工事以外)		工管理基準、その他設計図		717 GG 117A1 Z 1 Z 7		又は測定値が不適切	又は測定値が不適切
出来ばえ	い間なエテスババ			3 目 (こんび) りゃりこい鳴ん] %以内、□ばらつきが概ね80%	い内 口ばらつきが80%を超え	る 口ばらつきで判断不可能	であったため、監督職	であったため、検査職
田水池		●評価対象項目	19 6 10 9 2 2 7 18.1000	70X11 11 11 12 2 12 13 13 14 14 15 0 7 1	SALK FIRE A SOME REVEN	E OV LINGS OF CHARLE 1 STATE	員が文書で指示を行	員が修補指示を行っ
Ⅱ. 品質	【土工関係】						い改善された。	た。
и. ниж			S法面崩壊防止や路床•路®	登等への悪影響を防止するため	めの対策を提案し、その対策を	を実施したことが確認できる	V 50 E C 10/2 0	/
				を適切に施工がなされて品質				
				乱さないように丁重に行われ				
				Lされ、品質管理も適切に実		!できる。		
				勾配で仕上がり、法面の安定				
				、設計図書に基づき適正なが				
				とされた厚さのもと、締固め		なく、均一に仕上がるなど		
		品質が確認できる			, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	5· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		
				には には には には には には には には には には	施工で品質の確認ができる。			
		その他「		5,11		,		
		理由:						
		【コンクリート構造	i物関係】					
		設計図書等に基づ	づくコンクリートの材料・配っ	合が、工場の試験成績書・配	己合報告書で適切なコンクリ	ートの規格(強度・W/C・最大		
		骨材粒径 · 塩化物	総量・単位水量・アルカリ	骨材反応抑制等)であること	が確認できる。			
		コンクリート受ける	しれ時に必要な試験を実施	しており、温度、スランプ、3	空気量等の測定結果が確認	できる。		
		圧縮強度試験に	吏用したコンクリート供試 体	が、当該現場の供試体であ	ることが確認できる。			
		施工条件や気象質	条件に適した運搬時間、打	設時の投入高さ及び締固め	方法が、定められた条件を	満足していることが確認		
		できる。(寒中及び	ぶ暑中コンクリート等を含む	;)				
		コンクリートの圧約	宿強度を管理し、必要な強	度に達した後に型枠及び支付	保工の取り外しを行っている	ことが確認できる。		
		コンクリートの打言	设前に、打継目処理を適切	に行っていることが確認でき	きる 。			
		鉄筋の品質が、証	E明書類で確認できる。					
		コンクリート打設す	までに錆、どろ、油等の有割	『物が鉄筋に付着しないよう	管理していることが確認でき	る。		
		鉄筋の加工及び組	組立が、設計図書の仕様を	-満足していることが確認で	きる。			
		圧接作業にあたり	ノ、作業員の技量確認を行	っていることが確認できる。				
		コンクリートの養生	Eが、設計図書の仕様を満	足していることが確認できる	,)。			
		スペーサーの品質	₹及び個数が、設計図書 <i>の</i>)仕様を満足していることが研	崔認できる。			
		進行性又は有害な	なクラックが無い。(「進行性	E又は有害なクラックがある」	場合、無処理にしていた場合	合は状況に応じてd 又は		
		e 評価とする)						
		その他						
		理由:						
		│【路床·路盤工関	···-					
				R値を測定していることが確	認できる。			
				っていることが確認できる。				
				を実施して、設計図書の仕札				
				20cm以下とし、各層ごとに				
			て、構造物の隣接箇所や独	い箇所における締固めが、	タンハ等の小型締固め機械	により施工していることが		
		確認できる。		**************************************	-1. > 	マニコーナ フ		
			· · · · · · · · · · · · · · · · · ·	の浮石及び有害物を除去し		認じざる。		
				望していることが確認できる。 『試験が、4.様も滞り、てい				
				試験が、仕様を満足している				
			よ 付料 かり一になるよう 他	エしていることが確認できる	٥,			
		その他の思力に						
	l	理由:						

【アスファルト舗装関係】
アスファルト混合物の品質が、配合設計及び試験練りの結果又は事前審査制度の証明書類により確認できる。
舗装工の施工にあたり、上層路盤面の浮石などの有害物を除去していることが確認できる。
プラント出荷時、現場到着時、舗設時(初期締固め前)等において、アスファルト混合物の温度管理を記録していることが確認
できる。
舗設後の交通開放が、定められた条件を満足していることが確認できる。
既存・新設構造物等との取合いや接合の処理が適切で、安全な通行が確保されるいることが確認できる。
アスファルト混合物の運搬及び舗設にあたり、気象条件を配慮していることが確認できる。
密度が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。
その他「
【コンクリート舗装工関係】
□ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □
■ ■ ■ 圧縮強度試験に使用したコンクリート供試体が当該現場の供試体であることが確認できる。
確認できる。
Land Company Compa
理由:
【二次製品関係】
製品等の規格・寸法が設計図書で定められたもので、欠損・損傷等がないことが確認できる。
施工基面が入念な施工で、平滑に仕上げられていることが確認できる。
二次製品据付において、敷モルタル等の適正な施工で一点支持でないことが確認できる。
基礎工、裏込め工、収縮目地、接合モルタル等の施工が適正かつ確実に施工されていることが確認できる。
ブロック積ェンクリートの胴込め・裏込めコンクリートが適切に施工していることが確認できる。
 その他
【法面工関係】
土壌試験の結果を施工に反映させて施工していることが確認できる。
使用する材料の種類、品質、配合等が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。
金網などの境界に隙間がなく、破損もなく、重ね幅も確保されていることが確認できる。
施工時期等が適切で、吹付工法の目的を確実に達成し、良好な品質であることが確認できる。
吹付け厚さが均一であることが確認できる。
「 その他 「
理由:
●判断基準
ばらつきで判断可能 ばらつきで判 ① 当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。
50%以下 80%以下 80%を超える 断不可能 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比
評
(値) 60%以上75%未満 b b' c c (4) なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。
10 60%未満 b' c c c
注)試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。

3. 出来形	(25)用排水路工	а	a'		b	b'	С	d	e
及び		品質関係の試験結果のは	ばらつきと評価対	象項目の履行		fする。<判断基準参照>	•	品質関係の測定方法	品質関係の測定方法
出来ばえ		[関連基準、土木工事施工						又は測定値が不適切	又は測定値が不適切
H > 11017 C					· - · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	以内、口ばらつきが80%を超える	、口げらつきで判断不可能	であったため、監督職	であったため、検査職
Ⅱ. 品質		●評価対象項目	+ シ m 。 口 は り っ C	73 194 1800 70 95	F1, 1185 20 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	次下に 口はうっとからの 70を超える	た日はランとで刊聞いる。	員が文書で指示を行	員が修補指示を行っ
4. 吅具			\$/> 5 11 1 0	++-1/1 = 7 \ +\$	エ坦の計除さば書 エ	人おたまでき切むしょう!			
						合報告書で適切なコンクリー	トの規格(独及・W/ U・取入	い改善された。	た。
					反応抑制等)であること		_		
						〔量等の測定結果が確認でき	る 。		
			見用したコンクリー	−ト供試体が、	当該現場の供試体であ	ることが確認できる。			
		施工条件や気象条	4件に適した運搬	设時間、打設時	の投入高さ及び締固め	方法が、定められた条件を満	足していることが確認		
		できる。(寒中及び	暑中コンクリート	、等を含む)					
		コンクリートの圧縮	強度を管理し、	必要な強度に	達した後に型枠及び支付	呆工の取外しを行っていること	:が確認できる。		
		コンクリートの打設	前に、打継目処	理を適切に行	っていることが確認でき	る。			
		鉄筋の品質が、証	明書類で確認で	きる。					
		コンクリート打設ま	でに錆、どろ、油	等の有害物が	が鉄筋に付着しないよう	管理していることが確認できる)		
					足していることが確認でき				
					いることが確認できる。	. •			
					ることが確認できる。				
					ここが確認できる。 ていることが確認できる				
					様を満足していることが研				
						等がないことが確認できる。			
					な施工がなされているこ				
					われていることが確認で				
			手は雑物等を取 ^し	り除き、入念に	締固めされ、丁寧に施工	Lされていることが確認できる	0		
						間詰めがされていることが確認			
		は場取水工、ほ場	排水工の位置や	ら高さは、営農	:に支障がないように適፤	Eに設置されている材料、部品	品の品質照合の書類		
		(現物照合)を整理	し品質の確認が	ヾできる。					
		進行性又は有害な	なクラックが無い。	(「進行性又に	は有害なクラックがある」	場合、無処理にしていた場合	は状況に応じてd 又は		
		e 評価とする)							
		土砂流出防止対策	きを実施して下流	で 域の環境保全	全を図りながら、適正なカ	施工で品質の確認ができる。			
		現地状況を勘案し	、施工方法等に	ついての提案	を行うなど積極的に取り	組み、品質の良さが確認でき	-న.		
		その他「				7			
		理由:							
		<u></u>							
		●判断基準							
		●刊刷基準	げたへき	で判断可能	げたっキで地	① 业款[预压员免证	頁目」のうち、対象としない項[コル判除する	ነ
				%以下 80%を起	ばらつきで判 gaa 断不可能	II =			
		Topo/ N. I	50%以下80	, ,			場合は削除後の評価項目数	を対数として計算した比	
		90%以上	a	a' b	b	率(%)計算の値で			
		11 75%以上90%未満		b b	' b'		=該当項目数()/評価対		
		値 60%以上75%未満		b' c	С	④ なお、削除後の評	平価対象項目数が2項目以下	の場合はc評価とする。	
		60%未満	b'	с с	С				
		注)試験結果の打点数等:	が少なくばらつる	きの判断ができ	きない場合は評価対象項	頁目(評価値)だけで評価する。	0		

3. 出来形	(26)上記以外の		а	a'	b	b'	С	d	е
及び	工事(情報ボック		優れている	bより優れている	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない	品質関係の測定方法	品質関係の測定方法
出来ばえ	ス・浚渫工等)		品質関係の記	式験結果のばらつきと評値	西対象項目の履行状況(- 評価値)から判断する。<	判断基準参照>	又は測定値が不適切	又は測定値が不適切
	又は合併工事		[関連基準、	L木工事施工管理基準、	その他設計図書に定めら	られた試験]		であったため、監督職	であったため、検査職
Ⅱ. 品質				D判断は別紙-4参照。				員が文書で指示を行	員が修補指示を行っ
		●評価対象項目						い改善された。	た。
		l —— _							
			由:						
		理	曲:						
		理	曲:						
			· 二 !由:						
			由:						
		理	由:						
		理	由:						
		理	由:						
		●判断基準							
			象工事がばらつきによる	評価が不適切な工事	 対象:	L事がばらつきによる評価	価が適切な工事		
			工、取壊し工等		1	T-11-4-T-17 - 0-1 11-4-			
			頁目が90%以上・・・・・・ 5日が90%以上・・・・・・・			「対象項目」のうち、対象。			
			頁目が80%以上90%未満 頁目が70%以上80%未満			%)=該当項目数(k後の評価対象項目数が			
			夏日が70%以上80%木凋 夏目が60%以上70%未満		© '\$92' Hill	· 医切开皿对多项目数//·	2項目以下の場合は6円	<u>畑とする。</u>	
			質目が60%未満・・・・・・・ 1			ばらつき	で判断可能		
			除後の評価対象項目数か				%以下 80%を超える		
		c評価とす	ける。		⇒ 90%以上		a' b		
						90%未満 a'	b b'		
					值 60%以上		b' c		
					60%未満	b'	СС		

					· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
考査項目	エ 種	a	b	C	d
	.—	優れている	やや優れている	他の評価に該当しない	劣っている
	①コンクリート構造物工事 砂防構造物工事 海岸工事 トンネルエ事	●評価対象項目 コンクリート構造物の表面状態が良い。コンクリート構造物の通りが良い。天端仕上げ、端部仕上げ等が良い。クラックが無い。 漏水が無い。全体的な美観が良い。	0	●判断基準 該当5項目以上・・・a 該当4項目・・・・・b 該当3項目・・・・・・c 該当2項目以下・・・d	
	(盛土·築堤工事等)	世上げが良い。 通りが良い。 天端及び端部の仕上げが良い。 構造物へのすりつけなどが良い。 全体的な美観が良い。		該当4項目以上・・・a 該当3項目・・・・・・b 該当2項目・・・・・・c 該当1項目以下・・・d	
	③切土工事	●評価対象項目 規定された勾配が確保されている。 切土法面の施工にあたって、法面の浮法面勾配の変化部について、干渉部を 滞水などによる施工面の損傷が発生し 関係構造物等との取り合いが設計図 全体的な美観が良い。 残土等は適切に処理されている。	しないよう処理が行われている。	●判断基準 該当5項目以上・・・a 。 該当4項目・・・・・・b 該当3項目・・・・・・c 該当2項目以下・・・d	
	④護岸・根固・水制工事	●評価対象項目 通りが良い。 材料のかみ合わせがよく、クラックが無 天端及び端部の仕上げが良い。 既設構造物とのすりつけが良い。 全体的な美観が良い。	乗し 、 。	●判断基準 該当4項目以上・・・a 該当3項目・・・・・・b 該当2項目・・・・・・c 該当1項目以下・・・d	
	⑤鋼橋工事	●評価対象項目 表面に補修箇所が無い。 部材表面に傷及び錆が無い。 溶接に均一性がある。 塗装に均一性がある。 全体的な美観が良い。		●判断基準 該当4項目以上・・・a 該当3項目・・・・・・b 該当2項目・・・・・・c 該当1項目以下・・・d	
	⑥地すべり防止工事	●評価対象項目	出来ばえの良さがうかがえる。	●判断基準 該当3項目以上・・・a 該当2項目・・・・・・b 該当1項目・・・・・・c 該当項目なし・・・・・d	

考 査 項 目	エ 種	а	b	С	d
方 宜 垻 日		優れている	やや優れている	他の評価に該当しない	劣っている
3. 出来形	⑦舗装工事	●評価対象項目		●判断基準	
及び		舗装の平坦性が良い。		該当5項目以上・・・a	
出来ばえ		構造物の通りが良い。		該当4項目······b	
		端部処理が良い。		該当3項目・・・・・c	
Ⅲ. 出来ばえ		構造物へのすりつけ等が良い。		該当2項目以下···d	
		雨水処理が良い。			
		全体的な美観が良い。			
	⑧法面工事	●評価対象項目		●判断基準	
		通りが良い。		該当3項目以上···a	
		植生、吹付等の状態が均一である。		該当2項目······b	
		端部処理が良い。		該当1項目・・・・・c	
		全体的な美観が良い。		該当項目なし・・・・・d	
	⑨基礎工事	● <u>評価対</u> 象項目		●判断基準	
	(地盤改良等を含む)	土工関係の仕上げが良い。		該当3項目以上··∙a	
		通りが良い。		該当2項目······b	
		端部及び天端の仕上げが良い。		該当1項目・・・・・c	
		施工管理記録などから不可視部分の	出来ばえの良さがうかがえる。	該当項目なし・・・・・d	
		※地盤改良はc評価とする。			
	⑩コンクリート橋上部エ			●判断基準	
	事	コンクリート構造物の表面状態が良い	0	該当5項目以上・・・a	
		コンクリート構造物の通りが良い。		該当4項目······b	
		天端及び端部の仕上げが良い。		該当3項目・・・・・・c	
		支承部の仕上げが良い。		該当2項目以下···d	
		クラックが無い。			
		全体的な美観が良い。			
	⑪塗装工事	●評価対象項目		●判断基準	
	(工場塗装を除く)	塗装の均一性が良い。		該当4項目以上···a	
		■ 細部まできめ細かな施工がされている	0	該当3項目······b	
		補修箇所が無い。		該当2項目······c	
		ケレンの施工状況が良好である。		該当1項目以下···d	
		全体的な美観が良い。			
	10 技 土 工 市	●部体外免疫口		● Not Not 甘 2年	
	⑫植栽工事	●評価対象項目		●判断基準	
		樹木の活着状況が良い。	-1. , 7	該当3項目以上・・・a	
		支柱の取り付けがきめ細かく施工され	(いる。	該当2項目・・・・・・b	
		支柱の取り付けが堅固である。		該当1項目・・・・・・c	
		全体的な美観が良い。		該当項目なし・・・・・d	

考查項目別運用表

考查項目	エ 種	а	b	С	d			
7 且 识 日	<u> </u>	優れている	やや優れている	他の評価に該当しない	劣っている			
3. 出来形	⑬防護柵(網)工事	●評価対象項目		 ●判断基準				
及び		通りが良い。		該当5項目以上···a				
出来ばえ		端部処理が良い。		該当4項目・・・・・b				
		部材表面に傷及び錆が無い。		該当3項目・・・・・c				
Ⅲ. 出来ばえ		既設構造物等とのすりつけが良い。		該当2項目以下···d				
дуктоги		きめ細やかに施工されている。		10-1-10-1-10-1-10-10-10-10-10-10-10-10-1				
		全体的な美観が良い。						
		●評価対象項目		●判断基準				
	15/1示哦工事	設置位置に配慮がある。		該当4項目以上···a				
			きの達しが白い	該当4項目以工・・・。 該当3項目・・・・・・b				
		 	せの通りが良い。					
		標識板の支柱に変色が無い。		該当2項目・・・・・・c				
		支柱基礎が入念に埋め戻されている。		該当1項目以下···d				
		全体的な美観が良い。						
	@F.T.40.T.							
	⑤区画線工事	●評価対象項目		●判断基準				
		■ 塗料の塗布が均一である。		該当4項目以上・・・a				
		視認性が良い。		該当3項目・・・・・・b				
		接着状態が良い。	_	該当2項目・・・・・・c				
		施工前の清掃が入念に実施されている	5 .	該当1項目以下···d				
		全体的な美観が良い。						
	@ 146 1 b = p 144 — -	A-7/m 11/2 -7 m		a dudye H 16				
	16機械設備工事	●評価対象項目		●判断基準				
			が全体的に統制されており、運転操作性が良い。	該当4項目以上···a				
		きめ細かな施工がなされている。		該当3項目······b				
		土木構造物、既設設備等とのすりつけ		該当2項目······c				
		溶接、塗装、組立等にあたって、細部に	に渡る配慮がなされている。	該当1項目以下···d				
		全体的な美観が良い。						
		<u></u>		● Mad Not ++ 24t				
	⑪電気設備工事	●評価対象項目		●判断基準				
		きめ細やかな施工がなされている。	**************************************	該当5項目以上・・・a				
			び維持管理等への配慮がなされている。	該当4項目······b				
			かな異常が無く、総合的な機能及び運用性が良い					
		ケーブル等の接続方法及び収納状況		該当2項目以下・・・d				
		操作、保守点検等の容易さを確保する	ための配慮がなされている。					
		全体的な美観が良い。						
	@### ### = *							
	18維持修繕工事	●評価対象項目		●判断基準				
		小構造物等にも注意が払われている。		該当3項目以上・・・a				
		きめ細かな施工がなされている。		該当2項目・・・・・・b				
		既設構造物とのすりつけが良い。		該当1項目······c				
		全体的な美観が良い。		該当項目なし・・・・・d				

		а	b	c	d d
考 査 項 目	エ 種	優れている	やや優れている	他の評価に該当しない	劣っている
3. 出来形 及び 出来ばえ Ⅲ. 出来ばえ	⑨電線共同溝工事	●評価対象項目 歩道及び車道の舗装(含、仮復旧舗割 プレキャストコンクリートプロックの蓋に、がたて 施工管理記録などから、不可視部分 全体的な美観が良い。		●判断基準 建保されている。 該当3項目以上・・・a 該当2項目・・・・・b 該当1項目・・・・・c 該当項目なし・・・・d	
	⑩通信設備工事 受変電設備工事	動作状態において、電気的及び機械	及び維持管理等への配慮がなされている。 核的な異常が無く、総合的な機能や運用性が良い。 協調及び統制され、総合的な性能向上への配慮か		
	(21)建築工事		も良好である。 全体的な美観が良好である。	●判断基準 該当6項目以上・・・a 該当4項目以上・・・b 該当3項目・・・・・・c 該当2項目以下・・・d	
	(22) 管水路工事	●評価対象項目	りつけが良い。 Cの仕上がりも良い。	●判断基準 該当6項目以上・・・a 該当4項目以上・・・b 該当3項目・・・・・c 該当2項目以下・・・d	
	●評価対象項目 きめ細やかな施工がなされている。 管の埋設位置が適切である。 給水栓の設置について、細やかな施工がなされて出来ばえが良い。 既設土木構造物・既設設備等とのすりつけが良い。 弁類、機器類の設置位置並びに施工の仕上がりも良い。 構造物等の仕上がりが良い。 散水施設(スプリンクラー等)の配置が適切で施工の仕上がりも良い。 全体的な出来ばえが良い。			●判断基準 該当7項目以上・・・a 該当5項目以上・・・b 該当3項目以上・・・c 該当2項目以下・・・d	

考查項目	工種	а	b	С	d
		優れている	やや優れている	他の評価に該当しない	劣っている
3. 出来形 及び 出来ばえ 皿. 出来ばえ	(24)農道工事	●評価対象項目 施工管理記録等から不可視部分の出 関係構造物等との取り合いが適切に行 残土処理が適切に行われている。 法面の浮き石除去等、表面が適切に抗 コンクリート構造物の肌がよい。 付帯構造物に影響を与えるクラックが 路面の平坦性が良い。 全体的な美観が良い。	売われている。 を工されている。	●判断基準 該当7項目以上・・・a 該当5項目以上・・・b 該当3項目以上・・・c 該当2項目以下・・・d	
	(25)ため池工事	●評価対象項目 土工の仕上がりが良い。 土工の構造物等へのすりつけがよい。 吹き付け(植生、コンクリート等)状態が均一である。 コンクリート構造物の肌が良い。 コンクリート構造物の通りが良い。 天端仕上げ、端部仕上げ等が良い。 付帯コンクリート構造物にクラックがない。 漏水がない。 施設の通りが良い。 施設の通りが良い。 施工管理記録等から不可視部分の出来ばえの良さが確認できる。 全体的な美観が良い。		●判断基準 (コンクリート工事がない場合) 該当6項目以上・・・a 該当4項目以上・・・b 該当2項目以上・・・c 該当1項目以下・・・d	(コンクリート工事が含まれる場合) 該当10項目以上・・・ b 該当3項目以上・・・ c 該当2項目以下・・・ d
	(26)用·排水路工事	●評価対象項目	0	●判断基準 (二次製品工事の場合) 該当7項目以上・・・a 該当5項目以上・・・b 該当2項目以上・・・c 該当1項目以下・・・d	(二次製品工事以外が含まれる場合) 該当10項目以上・・・ a 該当6項目以上・・・ b 該当3項目以上・・・ c 該当2項目以下・・・ d
	(27)上記以外の工事 又は 合併工事	●評価対象項目 □ 理由: □ 理由: □ 理由: □ 理由: □ 理由:		●判断基準 該当4項目以上・・・a 該当3項目・・・・・b 該当2項目・・・・・c 該当1項目以下・・・d	